

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分 一部、令和7年度分を含む)

静岡県立焼津中央高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	29
学校施設の概要	30
在籍生徒調	32
入学志願者及び入学者数調	33
卒業生の動向調	34
生徒の状況	35
授業料収納状況調	36
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	37
預金調	38
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	39
委託料に関する調	40
負担金支出調	43
建築工事調	44
繰越工事調	48
公有財産調	50
借地借家等調	52
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	53
行政財産貸付・使用許可調	54
普通財産・借受財産等貸付調	55
職員公舎管理状況調	55
主要備品調	56
職員調	57
職員の年齢調	60
健康管理	61

事務事業の概要

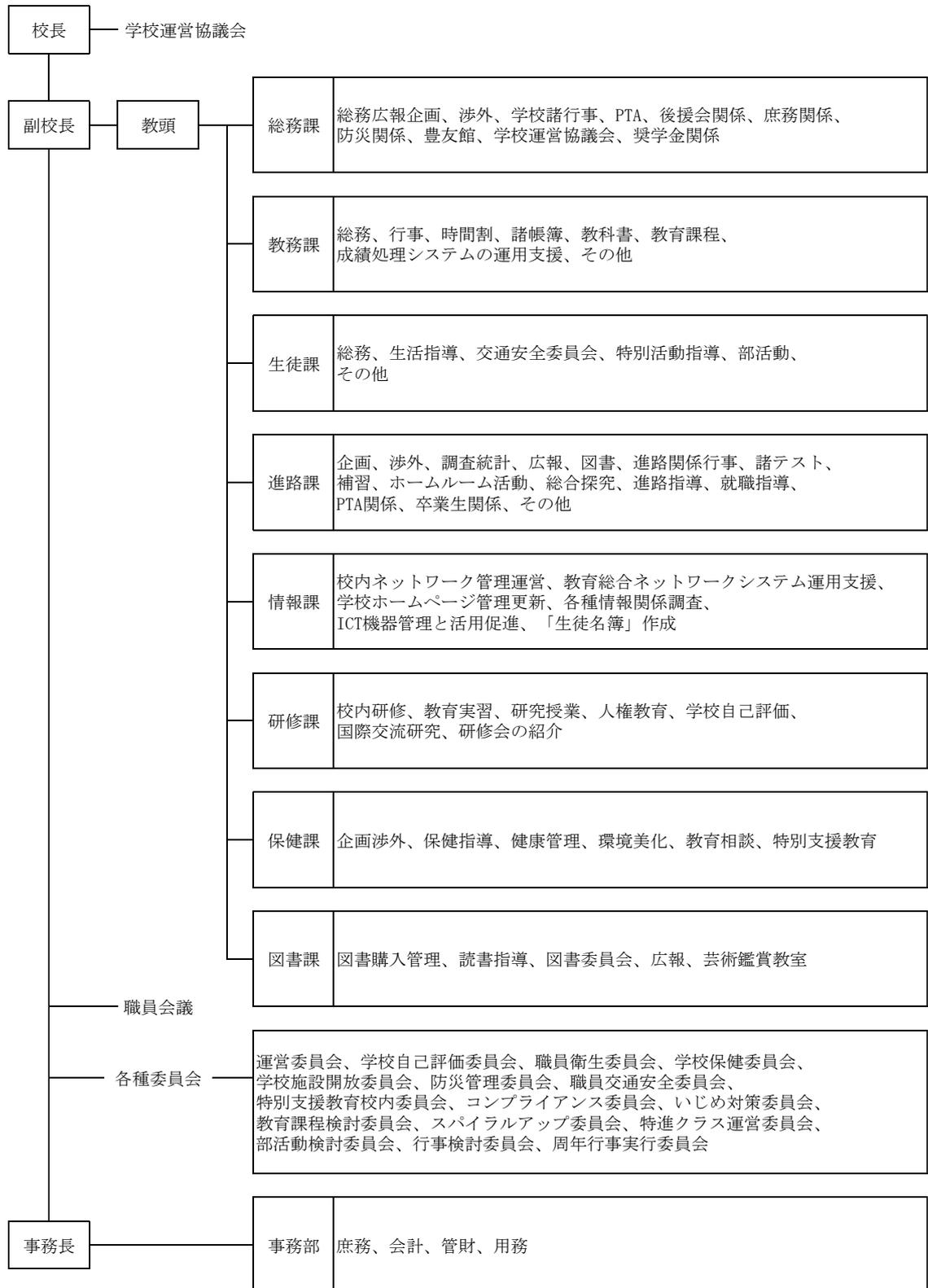
1 概況

(1) 学校の沿革

- 昭和38. 2. 1 静岡県立焼津中央高等学校設立準備委員会事務所を開設
- 昭和38. 4. 1 募集定員 普通科200人（4クラス）
- 昭和38. 4. 10 開校式並びに第1回入学式を挙（於焼津市立南小学校）
- 昭和38. 4. 11 仮校舎（於焼津市立豊田中学校）にて授業を開始
- 昭和39. 10. 1 校舎建築第1期工事竣工
- 昭和40. 4. 1 募集定員 普通科250人（5クラス）
- 昭和40. 12. 27 体育館兼講堂竣工
- 昭和41. 5. 31 校舎第2期工事（特別教室増築工事）竣工
- 昭和42. 12. 1 運動場東側を拡張
- 昭和44. 4. 1 募集定員 普通科282人（6クラス）
- 昭和44. 5. 7 格技場竣工
- 昭和44. 8. 8 校舎東側校地を拡張
- 昭和45. 1. 6 本館増築工事竣工
- 昭和45. 4. 1 募集定員 普通科276人（6クラス）
- 昭和45. 4. 1 文部省から「クラブ活動特別研究推進校」に指定される。
- 昭和46. 4. 1 募集定員 普通科270人（6クラス）
- 昭和46. 7. 20 弓道場竣工
- 昭和47. 4. 1 募集定員 普通科315人（7クラス）
- 昭和47. 10. 1 創立10周年記念式典を挙
- 昭和48. 3. 25 プール竣工
- 昭和49. 1. 20 本館増築工事竣工
- 昭和51. 4. 1 「静岡県交通安全研究指定校」に指定される。
- 昭和52. 9. 14 創立15周年記念式典を挙
- 昭和54. 4. 1 「地震予知観測学習モデル校」に指定される。
- 昭和55. 4. 1 募集定員 普通科360人（8クラス）
- 昭和55. 10. 20 自転車置場（2階建）竣工
- 昭和55. 12. 29 豪州ホバート市、エリザベス・マトリキュレーションカレッジと姉妹校提携調印
- 昭和56. 3. 10 夜間照明施設竣工
- 昭和56. 3. 14 校舎増築（新館）竣工
- 昭和57. 4. 1 募集定員 普通科315人（7クラス）
- 昭和57. 10. 30 創立20周年記念式典を挙
- 昭和58. 4. 1 募集定員 普通科360人（8クラス）
- 昭和59. 12. 21 豊友館（生活館兼同窓会館）竣工
- 昭和63. 4. 1 募集定員 普通科405人（9クラス）

- 平成元. 8.23 P T A文部大臣賞受賞
- 平成 4. 3.25 運動場部室建築工事竣工
- 平成 4. 4. 1 募集定員 普通科360人 (8クラス)
- 平成 4.11.12 創立30周年記念式典を挙
- 平成 5. 4. 1 募集定員 普通科344人 (8クラス)
- 平成 6. 4. 1 募集定員 普通科336人 (8クラス)
- 平成 7. 4. 1 募集定員 普通科328人 (8クラス)
- 平成 7. 9.30 新体育館兼講堂落成式
- 平成 7.12.15 格技場跡地自転車置場・駐車場竣工
- 平成 8. 4. 1 募集定員 普通科280人 (7クラス)
- 平成 9. 4. 1 募集定員 普通科320人 (8クラス)
- 平成 9. 4. 1 「学校安全に関する研究学校」に指定される。(平成9・10年度)
- 平成11. 9. 1 合唱部オペラ公演25周年教育委員会表彰
- 平成13. 4. 1 募集定員 普通科280人 (7クラス)
- 平成14. 5.13 管理教室棟地震対策緊急整備工事竣工
- 平成16. 9.27 特別教室棟改修工事竣工
- 平成19. 8.31 特別教室棟、昇降棟耐震補強工事竣工
- 平成20. 1.15 バリアフリー対策改修工事竣工
- 平成20. 4. 1 募集定員 普通科240人 (6クラス)
- 平成21.10.30 管理教室棟トイレ改修工事竣工
- 平成22. 4. 1 募集定員 普通科280人 (7クラス)
- 平成23. 4. 1 募集定員 普通科240人 (6クラス)
- 平成24. 4. 1 募集定員 普通科280人 (7クラス)
- 平成24.11.17 創立50周年記念式典を挙
- 平成26. 3.14 プール改修工事竣工
- 平成28.11.15 管理棟外壁補修工事完了
- 平成29. 4. 1 入学選抜において学校裁量枠(体育的活動)を導入する。
- 平成29. 4. 1 「金融経済教育研究指定校」に指定される。(平成29・30年度)
- 平成29. 6. 5 「ネオアドバンススクール指定校」に指定される。
- 平成30. 5.31 「コアスクール(学力向上)」に指定される。(～令和3年3月31日)
- 令和 3. 6. 2 「アカデミック・ハイスクール」に指定される。(～令和6年3月31日)
- 令和 5. 8.16 管理棟改築のため仮設校舎に移転
- 令和 6. 7.26 「行きたい学校づくり」推進事業指定校に指定される(～令和9年3月31日)

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) 教育目標

真理を探究し、高雅な教養と豊かな心情を育て、人格の調和を図るとともに、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた真に社会に貢献し得る、心身ともにたくましく健康な人材を育成する。

ア スクール・ミッション

高い目標を掲げて進路実現を目指す地域の中心的高等学校として、校是「文武両道」の下、生徒の主体的な学びや学力伸長を支援する授業、「行きたい学校づくり」推進事業（次世代教員養成システム構築）による取組、工夫を凝らし体系化された進路指導などを通して、揺るぎない自己を確立し、社会や地域に主体的に参画・貢献する「たくましく・たしかで・ゆたかな」人材の育成を目指す。

イ スクールポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー
① 自主的精神に満ち、積極的に社会に参画・貢献し得る、たくましい心身。 探究力・創造力・実践力・発信力
② 真理を探究し、高雅な教養の基礎となる、たしかな知性。 知識技術力・読解力・探究基礎力
③ 人格の調和的発達を図り、自分と他者を尊重する、ゆたかな心。 協働性・主体性・公共心・自己肯定感・レジリエンス
2 カリキュラム・ポリシー
① 生徒一人ひとりの高い進路目標の実現に応えるよう教育課程を編成します。
② 探究活動で身に付けた教科横断的な力を教科でも生かし、主体的な学びを推進します。
③ 学校行事・部活動・各種事業を充実させ、積極的に参加できる体制を整えます。
3 アドミッション・ポリシー
① 積極的に学ぶ姿勢を持ち、高い目標に向かって最後まで頑張りぬく生徒。
② 学習面とともに、学校行事や部活動など多くの活動に挑戦する生徒。
③ 自分と他者を尊重し、協働し、切磋琢磨しながら高め合うことができる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 授業の質の向上と ICT の有効活用を促進し、学力の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上を図る。

イ 自律的な基本的な生活習慣を確立し、心身の調和の取れた生徒を育成する。

ウ 探究活動、学校行事、部活動、各種セミナー等への積極的な参加により主体的な生徒を育成する。

エ P D C A を基にした計画的で組織的な進路指導(スパイラルアッププログラム)を推進し、進学対応力と意識・意欲・能力の向上、進路希望の実現を図る。

オ 読書環境の整備により、読書習慣の定着と語彙力・表現力の育成を図る。

カ 授業や行事などを活用し、主体的に主権者教育・消費者教育に取り組む生徒を育成する。

キ 地域との交流や広報活動を充実させ、保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。

ク 教職員のコンプライアンス・危機管理に関する意識・資質の向上と、働き方改革の推進を図る。

ケ 生徒、教職員が教育活動に専念できるような環境を整備する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の確実な定着を図るとともに、資質・能力の育成を念頭に置いた授業改善に取り組み、進路実現を可能とする学力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力が定着する。 学習支援サービスの有効活用により、生徒が自身の学習状況の振り返りと改善ができ、教員は指導に生かす。 指導と評価の一体化を意識して授業改善に取り組んだ教員70%。 学びの基礎診断、模擬試験等の結果の共有と分析を生かし、年間4回の面談実施により具体的指導が徹底される。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や小テストによって基礎学力が定着したと答える教員92.8%生徒84.5%。 授業改善に取り組んだ教員90.5% 4月と9月に面接週間を設定、夏季休業期間と冬季休業期間を利用し、三者面談（一部二者面談）を実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が小テストや課題に向けて計画的に準備、取組ができるように学年教務中心に調整していきたい。 教科会議で育成を目指す資質・能力について共有し、授業改善について話し合う時間がもてるようにしていきたい。 教科会議でICTの効果的活用方法について話し合う時間がもてるようにしていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 授業で1人1台端末の活用を意識して行った教員70%。 1人1台端末を日常的に活用したと答える生徒70%。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT(googleclassroom, スタディサプリ等)について、公務や授業で有効活用したと回答する教員95.2%。 生徒使用状況90.9%。 		
イ	<ul style="list-style-type: none"> 校則及び社会規範を遵守する意識を育てる。 基本的な生活習慣の確立と心身の健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> 場に応じた挨拶と対話ができる生徒100%。 不注意遅刻者 	<ul style="list-style-type: none"> 始礼遅刻者は1日平均3.5人。不注意遅刻34 交通事故11件 	C	<ul style="list-style-type: none"> 時差登校を呼びかけた。 交通事故R4:15件 R5:17件から比較して減少している。一時停止順守、車の出入り注意、他の自転

	を図る。	<p>が年間20人以内、交通事故10件以内。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時不停止・並進違反が20件以内。 ・服装の乱れ等で再指導を受ける生徒0%。 	<p>(加害2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時停止違反49、並進違反39 ・冬期登下校時の服装の乱れが一部あり。冬期校舎内での上着着用について授業内は徹底されていた。 		<p>車や歩行者への配慮の醸成を促していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取締まり強化により違反切符が増加している。ルール意識を校外指導により高める。 ・服装について校則見直しを生徒会とともに行った。下校時の服装運用事項変更し、部活動ごとに自覚を持たせた。今後の行動を見守る。来年度新制服と重なるため、そのほか服装規定運用上の見直しを図る。
		<ul style="list-style-type: none"> ・心臓病、貧血等の健康診断有所見者受診率100%。 ・緊急時には職員がマニュアルにより適切な対応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率100%。 ・年度当初に、既往症のある生徒を周知、エビペンおよび熱中症対策のセミナー実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の職員の対応の仕方や連絡体制の確認等は、年度当初および行事前に職員研修会等で、例年通り必ず行い、徹底する。 ・健康診断有所見者の受診率は常に100%を目指し、医師の診断や所見に従い、適切に対応していく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・適切な助言により、生徒との信頼関係が深まる。 ・組織による対応が可能となり、該当生徒及び担任等への支援が充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を抱えた生徒・保護者にスクールカウンセラーを紹介し、担任・学年部と対応を検討した。(のべ70人程度と面談実施。) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、スクールカウンセラーとの面談が昨年度の延べ30人程度から70人程度と倍増した。スクールカウンセラーや外部専門機関の助言を受けながら、職員間で連携して生徒や保護者の対応にあたる。 ・連携外部機関とは学校も定期的に連絡をとり、支援内容の客観的なチェックに活かす。
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒が生徒会活動に参画し活性化する。 ・学校行事や部活動により、積極性・主体性を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が委員会等の活動や地域行事等に参加し、自己有用感が高まった生徒80%以上。 ・全生徒の技術や意欲が向上し、自己肯定感が高まった生徒80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、体育祭では生徒主体の運営力が高まってきた。 ・部活動アンケートにより9割の生徒は積極的な活動ができている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭では仮設校舎開催で見通しがつきにくい中、新企画に挑戦する執行部の主体的な姿が見られた。体育祭での体育委員による事前準備がなされた。さらに企画力を高めたい。各委員会の活動ボリュームを見直したい。

	<p>・探究活動の活性化</p> <p>・中高大連携事業の推進</p> <p>・教科学習や探究学習、研修等を通じてグローバルな視点と思考、英語4技能対応力を育てる。</p>	<p>・探究活動を通じて自分の課題解決力が高まったと答える生徒70%以上。</p> <p>・リアルアクションを実行した生徒100%。</p> <p>・探究活動を通して、SDGsや大学の研究に関して学び、地域や社会の問題に関心を高め、進路希望決定や志望理由書の作成に生かすことができる。</p> <p>・実験・実習に参加した生徒の満足度80%以上。</p> <p>・授業に参加した中学生の満足度70%以上。</p> <p>・中学生に教えたことで実験・実習の成果が生かせたと答える生徒80%以上。</p> <p>・研修後の生徒アンケートの満足度90%以上。</p> <p>・研修に参加して、英語活用能力が向上したと答える生徒80%以上。</p> <p>・民間検定試験等での実績向上</p>	<p>・SDGs探究プロジェクトを行った。1,2年生は4月から12月まで探究の基礎を学び、1月よりSDGs探究活動を行い、代表作を集会で発表した。</p> <p>・概ね総合的な探究の時間についての改善点などを共有することができた。</p> <p>・満足度平均88.6%</p> <p>・中学生満足度88.7%</p> <p>・科学への関心が向上した高校生97.3%</p> <p>・BritishHills参加者アンケートより、「非常にそう思う」「そう思う」回答生徒79.3%</p>	<p>A</p>	<p>・総合的な探究の時間に関しては、昨年度と同様に、学年部の協力の下、SDGs探究活動につなげる取り組みを行っている。</p> <p>・「第6回高校生が競うEnergy Pitch!(エネルギー・ピッチ)」や、「第24回 AITサイエンス大賞」(優秀賞)に参加した。</p>
--	--	--	--	----------	--

エ	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイラルアッププログラムによる個々の能力・適性の伸長と、主体的・探究的な姿勢を育成し、生徒一人ひとりの進路実現を図る。 ・教育改革、新大学入学試験等への対応を深化・充実させる。 ・教員の進路指導力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト6教科8科目受験者を共通テスト受験者の70%以上、かつ国公立大学受験者を学年70%以上。 ・国公立大合格数150人以上。 ・難関大合格数（旧帝・ブロック等）20人以上。 ・教員の教育改革、大学入学試験等への理解が深まり、進路指導に生かすことができる。 ・担任研修会や検討会等の研修機会に参加する教員100%。 ・希望者対象の各種研修会、研究会に10人以上参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト出願者283人、英語受験者279人、6-8受験者258人（91.1%）。 ・国公立受験者247人（87.3%、前中後期合わせのべ355人）。 ・国公立大学合格者数191人 ・難関大（旧帝・ブロック・医学部）合格数20人。 ・推薦入試や総合型入試をはじめ、小論文や面接指導に関して、全職員で配分して指導に当たった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路保護者会等で国公立大学の魅力を発信することができた。生徒の進路希望調査から、地方の国公立大学を志望校にあげる生徒の数が多いたことが感じられる。今後も継続して全国の国公立大学の魅力を発信していきたい。 ・共通テストにおいて6教科8科目を受験した生徒は258人だった。また後期入試まで努力を続け受験した生徒は83人、合格した生徒は46人となり、粘り強く親身な指導が実を結んだ。
オ	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣の定着と読書量の増加及び読書の質の改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間等の活動を通して読書への関心を高め、年間3冊以上読む生徒が全体70%以上になる。 ・ライブラリー（図書委員作成の生徒用広報誌）を年10回以上、新刊図書案内を月1回発行し、貸出数が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間7月と11月に実施。 ・年3冊以上読む生徒45.7%（昨年比-7%）、貸出数平均は3.0冊（1/15現在）。 ・ビブリオバトルを1月のLHRで実施し、1・2年生全員が参加した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の読書週間は各学年テーマに沿った本を読むという提案をしており、2・3年生の56%（読書週間アンケート）が図書室や学級文庫から借りた。（1年生は生徒数分のテーマ本を用意しきれなかった） ・3冊読んだ生徒は目標値にだいぶ遠いが、読書週間で読書への関心が高まった生徒は68.2%（学校生活アンケート11月）で昨年度比+11%だった。読書週間の取り組みが良かった生徒も78%であり、読書時間確保の観点からも継続する意義がある。 ・校内ビブリオバトルに8名が参加し、上位2名が県大会に出場した。

カ	<ul style="list-style-type: none"> ・主権者・生活者としての自覚を促し、政治や選挙・消費に関する知識を身につけ、関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治的教養が高まり、政治や選挙への関心が高まったと感じる生徒が80%以上。 ・主権者・生活者としての自覚が高まった生徒60%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・66.4% ・74.8% 	B	
キ	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を充実させ、積極的な情報発信をするとともに、地域から信頼される学校としての体制づくりをする。 ・地域との交流を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページのシステム移行及び全面刷新。 ・学校ホームページの内容の充実と年間閲覧者数の増加。 ・新校舎関係の情報提供週1回 ・学校説明会に参加した中学生の満足度80%以上。 ・クラウドサービスによる情報提供に満足していると答える保護者90%以上。 ・各学年1回以上の保護者会を実施する。 ・電話、窓口対応に対するクレーム0件。 ・地域との交流活動が前年度より30%程度増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月14日に新ホームページに移行。全職員で記事作成を行っている。 ・情報提供に満足している保護者90.9% ・学校説明会参加中学生満足度98%。 ・91.0% 1年部2回 2年部2回 3年部1回 ・クレームはなし ・R5.83件 → R6.95件。14%増。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの移行に伴い、担当教員が更新する部分を明確化したので、更新はしやすくした。軌道に乗せるために、各学年や分掌に更新の声掛けが必要である。 ・PDFでプリントを送信することで確実に保護者に情報が伝わることは有効である。

ク	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理能力を高めるとともに地域の安全と防災に貢献する。 ・コンプライアンス遵守の意識の確実な向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生の際、教職員及び生徒が速やかに的確な減災対応をとることができ、負傷者を0名とする。 ・地域防災訓練への年1回以上の参加率90%以上。 ・声を掛け合い、チーム力向上を意識する教職員100%。 ・不祥事の発生0件。 ・職員の交通事故0件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の48.3%が年一回以上防災訓練に参加した（不参加のうち参加対象外、未実施を除くと84%が参加）。地域防災訓練は大雨のため中止となった。 ・92.8%（42人中39人） ・案件あり。 ・2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の防災訓練や避難訓練、防災に関する集計などにおいて、積極的に防災委員を動かし、意識を高く持たせ活性化に努めた。 ・防災訓練や避難訓練を行い、今起こってもおかしくない状況にある大地震への備えを考えさせる。 ・職員会議議題や研修に組み込んでもらうなどして、教職員の防災意識の向上を推進する。 ・地域での防災訓練が実施され始めた。各生徒が自身の地域における役割を確認するような取り組みを考える。 ・防災委員会の主体的な活動を促すよう指導していく。 ・職員室内の雰囲気は悪くないが、チーム力向上を意識できない職員もいる。不祥事対策は地道にしてきたが、力不足を感じる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員、生徒を支援する校内研修等の充実と改善を研究、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末やICTを活用した授業・学習指導について研究した教員100%、実践した教員80%以上。 ・特別支援教育に関する意識や知識が高まった教員80%。 ・授業評価アンケートの結果を授業改善に生かすことができた教員80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末やICTを活用した授業・学習指導について研究した教員85.7%。実践した教員83%。 ・特別支援委員会（校内および外部連携会議・面談）23回実施。 ・授業改善に活かした職員92.8%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末が全学年となり、ICTを活用する教員が増えた。今後は、授業での活用や生徒の個別学習の活用のノウハウを蓄積・共有していく必要がある。 ・授業改善のために今後も授業アンケートと教科別研修を継続していきたい。 ・特別支援教育研修会は、台風のため12月に延期し実施。 ・授業評価アンケート結果を積極的に利用している職員が多い。一方他の教員の授業参観を積極的に行った職員は半数程度にとどまり、相互研修の必要性が感じられる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に向けて業務改善や円滑化に係る具体的措置の検討と実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の削減又は改善について検討した分掌学年100%。 ・完全退勤時刻（20:00）と定時退勤日（曜日）を意識して 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌の長に改善検討を依頼。 ・ワークライフバランスを考え時間を意識して働いている職員73.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の業務削減取組例を参考に本校で取り組めることや学校で取り組んで欲しいことについて検討した。活かせる内容を精査していきたい。 ・部活動の休みが多い月曜日は年休や割振を取得し早く帰宅する職員も多くみられる。週休日の業務

		働いた教員80%以上。 ・時間外在校時間が月80時間以上の教員が10%以下になる。	・時間外在校時間が月80時間以上の教員は9.38%。		は部活動によるものが多く、今後部活動の在り方検討の中で、意識改革が必要となる。 ・時間外在校時間が月80時間以上の教員には、健康チェックを行い、産業医に報告している。
ケ	・安心・安全な施設・設備および生徒の教育環境整備の充実を図る。	・教室の照度、CO ₂ 、騒音の検査を年に2回実施。 ・年間のゴミの排出量 900kg以下。	・7月に左記の3検査を実施済み。1月に再度実施。 ・12月末現在で708kg。私物ゴミ持ち帰りの徹底、教室内ゴミ箱撤去継続により、減量化を図ることができた。	A	・7月の検査においては、特に照度、CO ₂ 、騒音に関して問題はなかった。 ・来年度も猛暑が予想されるため、エアコンの適切な使用に努め、学習環境を整えていく。 ・昨年度は12月末でゴミの排出量は868kgであり、減少している。 ・共通教室などに、ペットボトル等が放置されているときがあるので責任をもって処理するように呼び掛けていく。
		新校舎建設工事の工期遵守 ・新校舎移転計画の策定 ・施設等の不具合による事故0件。	新校舎は施工事情により工期延長を受け入れ、10月上旬の校舎移転を予定 施設等の不具合による事故0件 おおむね目標を達成した。	B	・工期延長を受け入れることになったが、10月上旬の校舎移転に向けて具体的な目処が立ち、設備や物品についても検討が進んだ。 ・施設の不備については速やかに改修し、事故の発生を予防することができた。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	・基礎学力の確実な定着を図るとともに、資質・能力の育成を念頭に置いた授業改善に取り組み、進路実現を可能とする学力を育成する。	・年間を通じ、生徒の実態に合わせた、課題の提示と小テストの実施。 ・テスト後の追指導。 ・スタディレコード等への記録と把握。 ・各授業における育成すべき資質・能力を明確化し、学習評価や授業改善を行う。 ・新学習指導要領に対応した教育課程を踏まえた授業の確実な実施。 ・「学びの基礎診断」等を	・基礎学力が定着する。 ・学習支援サービスの有効活用により、生徒が自身の学習状況の振り返りと改善ができ、教員は指導に生かす。 ・指導と評価の一体化を意識して授業改善に取り組んだ教員70%。 ・学びの基礎診断、模擬試験等の結果の共有と分析を生かし、年間4回の面談実施によ	教務 進路 情報 研修 各学年 各教科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<p>活用した分析を年3回以上実施し、生徒の学力を把握し、指導の検証・改善に結び付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末やICTの効果的、日常的な活用の促進を図る。 ・各教科で育成を目指す資質・能力と単元シラバスの研究。 	<p>り具体的指導が徹底される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で1人1台端末の活用を研究した教員100%、実践した教員80%。1人1台端末を日常的に活用したと答える生徒80%。 	
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・校則及び社会規範を遵守する意識を育てる。 ・基本的な生活習慣の確立と心身の健康管理を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による挨拶運動、時差登校支援、職員による声掛けを継続。 ・校外交通指導（年5回）。 ・交通安全教室の実施。 ・全職員による日常的服装着こなし支援の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた挨拶と対話ができる生徒100%。 ・不注意遅刻者が年間20人以内、交通事故10件以内。 ・一時不停止・並進違反が20件以内。 ・服装の乱れ等で再指導を受ける生徒0%。 	生徒
		<ul style="list-style-type: none"> ・各健診の事後措置を徹底。 ・既往症のある生徒の状況を全職員に説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓病、貧血等の健康診断有所見者受診率100%。 ・緊急時には職員がマニュアルにより適切な対応ができる。 	保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回以上の担任面談を実施。 ・気になる生徒の状況を定期的に聞き取り、全職員に周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な助言により、生徒との信頼関係が深まる。 ・組織による対応が可能となり、該当生徒及び担任等への支援が充実する。 	教育相談
ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒が生徒会活動に参画し活性化する。 ・学校行事や部活動により、主体性を育てる。 ・「行きたい学校づくり」推進事業（地域大学等との連続性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の行事運営、委員会活動の促進。 ・部活動への主体的な参加。 ・地域活動への主体的な参加。 ・次世代教員養成システム・カリキュラム構築のために、探究活動や中高大連携事業を関連付けて活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が委員会等の活動や地域行事等に参加し、自己有用感が高まった生徒80%以上。 ・全生徒の技術や意欲が向上し、自己肯定感が高まった生徒80%以上。 ・「行きたい学校づくり」推進事業に参加した生徒の内、教職に魅力を感じた生徒60%以上 ・中高大連携授業を通して、教職に対して、仕事としての興味をもつようになった生徒70%以上 	生徒

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動の活性化 中高大連携事業の推進 教科学習や探究学習、研修等を通じてグローバルな視点と思考、英語4技能対応力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間」の深化と探究セミナーの充実。 リアルアクションを通して生徒の情報収集力・情報分析力・課題発見力・構想力・課題解決力等の向上を図る。 各種大会や発表会への主体的な参加。 最先端の知識・技術を授業で体験し、探究のプロセスを体験することで課題を解決する力や、教員として求められる広範な知的好奇心の向上を図る。 中学生に対して授業をすることを通して、説明する力・コミュニケーション能力の育成を図る。 様々な研修等への主体的な参加。 本研修及び、事前研修、事後研修の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動を通じて自分の課題解決力が高まったと答える生徒 80%以上。リアルアクションを実行した生徒 100%。 探究活動を通して、SDGs や大学の研究に関して学び、地域や社会の問題に関心を高め、教職を含む進路希望決定や志望理由書の作成に生かすことができる。 実験・実習に参加した生徒の満足度 80%以上。 授業に参加した中学生の満足度 70%以上。 中学生に教えたことで実験・実習の成果が生かされたと答える生徒 80%以上。 研修後の生徒アンケートの満足度 90%以上。 研修に参加して、英語活用能力が向上したと答える生徒 80%以上。 	特別委員会 全学年 英語科
エ	<ul style="list-style-type: none"> スパイラルアッププログラムによる個々の能力・適性の伸長と、主体的・探究的な姿勢を育成し、生徒一人ひとりの進路実現を図る。 教育改革、新大学入学試験等への対応を深化・充実させる。 教員の進路指導力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別面談、補講、自学自習支援、進路行事等を計画的に実施し、生徒の進路実現と実績向上を図る。 二次試験指導、面接、小論文指導の充実。 各教科の共通テスト研究や、大学推薦入試拡大への対応。 教員研修の実施。 各種研修会、研究会への主体的な参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通テスト6教科8科目受験者を共通テスト受験者の80%以上、かつ国公立大学受験者を学年80%以上。 国公立大合格数150人以上。 難関大合格数（旧帝大・ブロック大等）20人以上。 教員の教育改革、大学入学試験等への理解が深まり、進路指導に生かすことができる。 担任研修会や検討会等の研修機会に参加する教員100%。 希望者対象の各種研修会、研究会に10人以上参加する。 	進路 3年部 各教科 特別委員会
オ	<ul style="list-style-type: none"> 読書習慣の定着と読書量の増加及び読書の質の改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間を年2回実施。学年別にテーマやジャンル等設定、読書の充実を図る。 ビブリオバトルを年1回実施。 活発な広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間等の活動を通して読書への関心を高め、年間2冊以上読む生徒が全体70%以上、年間3冊以上読む生徒が全体50%以上になる。 ライブラリー(図書委員作成の生徒用広報誌)を年10回以上、 	図書

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<ul style="list-style-type: none"> 教職員、生徒を支援する校内研修等の充実と改善を研究、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間におけるゼミ活動やリアルアクションについて、校内研修で検証し、その質の向上につなげる。 特別支援教育研修の実施 生徒による授業評価アンケートおよび教員相互の授業参観を年2回、教科別研修1回、全体研修1回を実施し、授業改善を図る。 教員の相互理解を深めチーム力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の満足度 80%以上 特別支援教育に関する意識や知識が高まった教員 80%。 授業評価アンケートの結果・研修会を授業改善に生かすことができた教員 80%以上。 教員相互の授業参観を年2回以上行った教員 80%以上。 	研修 相談室
	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に向けて業務改善や円滑化に係る具体的措置の検討と実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌学年で業務見直しによる削減又は改善等を検討する。 完全退勤時刻を設定し、時間を意識した働き方をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の削減又は改善について検討した分掌学年 100%。 完全退勤時刻（20:00）と完全退勤時刻遵守日（水・金曜日）を意識して働いた教員 80%以上。 時間外在校等時間が月 80 時間以上の教員が 1 延べ 60 人以下になる。 	委員会 管理職
ケ	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な施設・設備および生徒の教育環境整備の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室等、生徒の学習環境の定期検査。 ゴミの分別を徹底し、減量を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室の照度、CO₂、騒音の検査を年に2回実施。 年間のゴミの排出量 900kg 以下。 	保健
		<ul style="list-style-type: none"> 新校舎の落成。 仮設校舎及び既存施設の維持補修。 	<ul style="list-style-type: none"> 新校舎建設工事の工期遵守。 新校舎への移転完了。 施設等の不具合による事故 0 件。 	事務

4 監査対象期間における特色ある取組

(1) 令和6年度

取組概要	成果及び課題
1 学習指導 (1) 基礎学力の確実な定着 ア 年間を通じ、生徒の実態に合わせた、課題の提示と小テストの実施及びテスト後の追指導。 イ スタディレコード等への記録と把握。	(1) ア 英国数で小テストを実施し、基準点に達しない者には追テストを行うことで、基礎学力定着を図った。 イ (ア) スタディレコードを活用し、生徒の生活・家庭学習の状況や学校生活への意

取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
<p>(2) 資質・能力の育成を念頭に置いた授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業における育成すべき資質・能力を明確化し、学習評価や授業改善を行う。 ・新学習指導要領に対応した教育課程を踏まえた授業の確実な実施。 ・各教科で育成を目指す資質・能力と単元シラバスの研究。 <p>(3) 進路実現を可能とする学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの基礎診断」等を活用した分析を年3回以上実施し、生徒の学力を把握し、指導の検証・改善に結び付ける。 <p>・1人1台端末やICTの効果的、日常的な活用の促進を図る。</p>	<p>識・行動について実態を把握した。その理解を声掛けに繋げ、家庭学習の充実に生かした。</p> <p>(イ) 学習支援クラウドサービスのアンケート機能を活用して、生徒の記録を行い、指導や評価に生かした。</p> <p>(2) 生徒の授業に対する取組や考えを知ること、各教科及び各自の授業改善を図るために、生徒による授業評価アンケートを実施した。(前期：6月24日～7月12日、後期：11月16日～12月13日)。</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月16日に2・3年生、5月7日に1年生のスタディサポート分析会を行い、学年集団及び各生徒の指導改善に向けて協議を進めた。また、各模擬試験毎に担当教科が結果と傾向を分析し、職員会議で共有した。 ・総合的な探究の時間におけるグループ活動や各教科授業で積極的に活用した。7月18日にはデザインアプリケーションを利用し、授業での利用方法について校内研修を行った。
<p>2 生徒指導・生徒会活動</p> <p>(1) 校則及び社会規範を遵守する意識の育成</p> <p>生徒による挨拶運動、時差登校支援、職員による声掛けを継続。</p> <p>(2) 交通安全</p> <p>ア 校外交通指導（年5回計画、4回実施）</p> <p>5月17日、6月21日（雨天中止）、9月6日、10月18日、11月22日</p> <p>イ 交通安全教室の実施 4月8日</p>	<p>(1)</p> <p>時差登校はほぼ定着しており、挨拶の励行と制服の正しい着こなしの指導を徹底した。</p> <p>(2)</p> <p>ア 計4回校外交通指導を行い、生徒・保護者・教職員の三者が協力し、登校時の交通安全及び挨拶励行の意識を高めた。</p> <p>イ 新入生に自転車の乗り方や交通ルール等の正しい理解を促すために、焼津警察署より交通指導員を派遣していただき交通安全教室を実施した。</p> <p>ウ 自転車安全指導カードの交付は123件。指導内訳は一時不停止と並進が多かった。交通事故は12件。本人の一時停止不履行</p>

取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
<p>(3) 学校行事や部活動による積極性・主体性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒主体で文化祭等の行事運営、委員会活動の展開をする。 	<p>や出会い頭の事故が多かった。</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月31日・6月1日に文化祭を実施。人数制限は行わず、来客者が展示・有志発表等を成功させた。生徒の満足度は96%と非常に高かった。 10月2日に体育祭を実施。運営は体育委員会を中心に行った。
<p>3 進路指導</p> <p>(1) 生徒一人ひとりの進路実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別面談、補講、自学自習支援、進路行事等を計画的に実施し、生徒の進路実現と実績向上を図る。 二次試験指導、面接、小論文指導の充実。 各教科の共通テスト研究や、大学推薦入試拡大への対応。 教員研修の実施。 各種研修会、研究会への積極的な参加。 <p>(2) 県教育委員会事業等を利用した取組</p> <p>「オンリーワン・ハイスクール」の後継事業である「行きたい学校づくり」推進事業指定を受け、学習・進路支援を中心とした「スパイラルアップセミナー」、高大連携事業を中心とした「アカデミックセミナー」、SDGsの探究的な学びを中心とした「探究セミナー」、グローバル教育を中心とした「中央セミナー」の4つのセミナーを継続実施し、生徒支援のため、様々な取組を行う。</p> <p>ア(ア)スパイラルアップセミナーⅠ(7月22/23日)</p> <p>3年生希望者を対象に、外部講師による国・</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月22～26日、7月16～26日、9月9～13日、12月16～20日の年4回面接週間を設定し、個別面談を実施した。 3年部や進路課だけではなく、全職員体制で小論文・面接指導担当を分配し指導にあたった。 進路課が中心となり、各教科で外部模擬試験の分析を行い、職員会議で報告し、授業改善や課題設定に活かした。また、静岡大学問題分析を行い受験指導に生かした。 静岡大学全学部説明会を実施し、生徒の進路に対する視野を広げた。 大学模擬授業を行い、個々の生徒の関心を深め、進路意識を高めた。 共通テスト出願者283人、 国公立受験者247人(のべ355人)。 国公立大学合格者数191人 難関大(旧帝・ブロック・医学部)合格者数20人。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究活動を、SDGsを中心としたテーマから、個々の関心に添ったテーマやゼミ担当の教員が設定したテーマに移行した。それにより、多くの生徒が、より具体的な課題設定や解決方法の提案を実施できた。 「第6回高校生が競うEnergy Pitch!(エネルギー・ピッチ)」や、「第24回AITサイエンス大賞」(優秀賞)に参加した。 <p>ア(ア)3年生述べ129人が参加した。</p> <p>教科別講義に加え、共通テスト対策の</p>

取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
<p>数・英3教科の教科別講義を行う。</p> <p>(イ)スパイラルアップセミナーⅢ (12月24日) 2年生特進クラス生徒及び普通クラス希望者を対象に、大学入試に向けて外部講師から英語の学習方法や使用教材について学ぶ。</p> <p>イ 2年勉強合宿 (7月22日～25日3泊4日) 2年生特進クラス全員と普通クラス希望者を対象に実施。</p> <p>ウ 夏季補講 (7月22日～8月9日延べ15日) 3年生を対象に実施</p> <p>エ 豊友館における放課後 (午後9時まで) の自習支援を実施する。</p> <p>オ British Hills (福島県) での英語研修 (8月6日～8日 2泊3日)</p> <p>カ 大学見学 (10月21日) 保護者・生徒を対象に、大学施設を見学し、関係者の説明等を聞く見学会を行った。</p> <p>キ 職業講話 (10月28日) 社会の現場で活躍されている方を講師に招き、その職業に就いた理由や楽しさ、厳しさなど生の声を聞き、生徒自身の職業や進路を考える機会とした。</p> <p>ク 大学模擬授業 (12月12日) 大学で行われている最先端の研究などについて、分野別に講義を聞き、生徒の進路選択の拡大や興味関心の向上を促し、職業や進路を考える機会とした。</p>	<p>要点や、今後の学習内容やスケジュール等についても学んだ。</p> <p>(イ) 2年生 98人が参加し、満足度は91%。英語学習の基本や基礎固めの重要性、勉強法や試験の傾向等を知り、今後の学習方針が明確になった、といった感想があった。</p> <p>イ 2年生 160人参加。「合宿でできた習慣を続けていきたい」「周りが一生懸命やっているのを見て自分もやらないと、思うことがよくあった」といった感想が聞かれた。</p> <p>ウ 3年生は進路実現に向けて密度の濃い勉強ができ、受験生としての意識が高まった。</p> <p>エ 集中して自習に取り組める場所として3年生や部活動後の1、2年生が効果的に活用した。</p> <p>オ 生徒44人参加。79.3%の生徒が、英語活用能力が向上したと答えた。</p> <p>カ 名古屋大学、名古屋工業大学、愛知教育大学を見学。生徒42人、保護者10人、教員4人が参加。満足度は98%。「施設見学や模擬授業を通じて、大学の魅力や学びの深さを実感した」「進路選択や受験への意欲が高まった」といった感想が聞かれた。</p> <p>キ 12の事業所から13人の講師に来校していただき、生徒は自分の興味関心に合った講座を選び参加。94.9%の生徒が「大変良かった」「良かった」と回答。熱心に聞き積極的に質問した生徒も多かった。</p> <p>ク 12大学から19人の講師に来校していただき、生徒は2講座を選択し受講した。それぞれが進路先候補として考えている大学を中心に選択し受講しており、深い学びを得た生徒が多かった。</p>
<p>4 部活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率100%を継続し、学習と部活動の両立を目指す。 	<p>全国大会、東海大会出場実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校総合体育大会 弓道部 ・全国高校生グレコローマン選手権 レスリング部

取組概要	成果及び課題
<p>加入率 100%</p> <p>運動部 56.3% 男子 70.6% 女子 42.4%</p> <p>文化部 40.9% 男子 24.1% 女子 57.1%</p> <p>同好会 2.8% 男子 5.3% 女子 0.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会少年の部 弓道部 ・全国高等学校総合文化祭 写真部 ・東海高等学校総合体育大会 レスリング部、水泳部、弓道部、相撲 ・東海卓球選手権大会 卓球部 ・東海高等学校新人選手権大会 陸上部 ・全国高等学校選抜大会 レスリング部、弓道部 <p>県大会出場：陸上部、男子バレー部、女子バレー部、サッカー部、女子テニス部、男子バスケットボール部、バドミントン部、卓球部</p>
<p>5 教育相談・特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援心理アドバイザー、スクールカウンセラー及び相談室担当教諭、養護教諭との連携を進めている。職員会議では、特別な配慮を要する生徒について丁寧に説明している。 ・校内研修会（8月29日→12月19日） 愛知大学文学部 松尾由希子教授を講師に、「いちから学ぶ性の多様性～学校に必要とされる知識」の演題で、性の多様性に関する研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を必要とする生徒及びその保護者へのきめ細かな対応が可能となっている。職員間で綿密な情報共有ができるようになってきている。 ・台風により講師の来校が困難になったため、12月19日に延期し実施した。「気づかなかったことを知ることができて良かった」「今後どのような対応をしていけばいいか心構えができた」といった感想が聞かれた。

(2) 令和7年度

取組概要	成果及び課題
<p>1 学習指導</p> <p>(1) 基礎学力の確実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じ、生徒の実態に合わせた、課題の提示と小テストの実施。 <p>(2) 資質・能力の育成を念頭に置いた授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ポリシーの実現を目指した教科指導の在り方や、主体的協働的な深い学びを促す問の設定を探究・検証し、職員間で共有しながら授業改善につなげる。 ・生徒による授業評価アンケートおよび教員相互の授業参観を年2回、教科別研修を1回実施する。 	<p>(1) 英国数で小テストを実施し、基準点に達しない者には追テストを行い基礎学力定着を図っている。また、週ごとに課題を設定し、提出の徹底を図っている。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期の授業評価アンケートを6月23日～7月17日に実施し、各自自分の授業を振り返った。 ・教科を超えた6～7人の教員グループを作り、公開授業週間（6月3日～23日）に相互の授業参観を行った。 ・7月17日に校内研修会を行い、総合的な探究の時間の進め方に関し意見を出し合った。

取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
<p>(3) 進路実現を可能とする学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの基礎診断」等を活用した分析を年3回以上実施し、生徒の学力を把握し、指導の検証・改善に結び付ける。 ・1人1台端末やICTの効果的、日常的な活用の促進を図る。 	<p>(3) 4月17日に2・3年生、5月8日に1年生のスタディサポート分析報告会を行い、生徒の学力の客観的掌握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校教育課主催の探究学習アップデート研修に教員延べ7人が参加し、データサイエンスやデザインツール等に関する技術を身に付けた。 ・教育政策課主催のICT活用基礎研修に教員1人が参加し、普段の授業におけるICTの利用について技能を高めた。
<p>2 生徒指導・生徒会活動</p> <p>(1) 昇降口での挨拶活動 新制服導入に伴う校則見直し</p> <p>(2) 交通ルールの順守を徹底し、生徒の交通事故ゼロを目指す</p> <p>ア 校外交通指導 年間5回実施 6月20日 9月5日(大雨休校のため中止)</p> <p>イ 新入生対象交通安全教室 4月8日実施</p> <p>(3) 諸活動において、生徒の積極的・自主的に取り組む姿勢を育てる</p> <p>ア 文化祭 5月30日～31日 企画・運営は生徒の実行委員会を中心に行う。</p>	<p>(1) 挨拶の励行と制服の正しい着こなしの指導を徹底した。特に新制服の着こなしのチェックポイントについては職員間で共有を図り指導を行った。</p> <p>(2) 7月末までのイエローカード発券数50枚</p> <p>ア 校外交通指導では、生徒・保護者・教職員の三者が協力し、登校時の交通安全及び挨拶励行の意識を高めた。</p> <p>イ 新入生に自転車の乗り方や交通ルール等の正しい理解を促すために、焼津警察署より交通指導員を派遣していただき交通安全教室を実施した。</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部と文化祭実行委員会を中心に、企画と運営を進め、展示・有志発表等を成功させた。生徒の満足度は95%と非常に高かった。
<p>3 進路指導</p> <p>(1) 生徒一人ひとりの進路実現</p> <p>ア 個別面談 4月21日～25日、7月15日～25日、9月2日～5日に面接週間を設定</p> <p>イ 補講 夏季補講(7月22日～8月22日 計18日)</p> <p>ウ 自学自習支援 豊友館(同窓会館)の放課後(午後9時まで)開放及び自習支援</p> <p>エ スパイラルアップセミナー(7月22/23日) 3年生希望者を対象に、外部講師による国・数・</p>	<p>(1)</p> <p>ア 期間中に各生徒1回個別面談を実施し、生徒の進路希望を把握し、学力向上に向け適切な指導を行った。</p> <p>イ 3年生希望者延べ378人が受講した。</p> <p>ウ 3年生を中心に毎日30～80人の生徒が利用している。</p> <p>エ 3年生希望者100人が受講した。</p>

取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
<p>英3教科の教科別講義を行った。</p> <p>オ 進路行事等の計画的な実施</p> <p>(ア) 1年保護者会（4月23日 焼津文化会館） 午後6時40分から1年生保護者を対象に本校の教育課程や進路指導について説明</p> <p>(イ) 静岡大学全学部説明会（6月5日） 1年生全員を対象とし、静岡大学全7学部の講師による学部説明会を行った。放課後、全学年の希望者を対象とした学部別の座談会を実施した。</p> <p>(ウ) 勉強合宿（7月22日～25日 焼津松風閣） 特進クラス+希望生徒 計167人参加</p> <p>カ 二次試験指導、面接、小論文指導の充実。</p> <p>キ 各教科の共通テスト研究や、大学推薦入試拡大への対応。</p> <p>ク 教員研修の実施。</p> <p>ケ 各種研修会、研究会への積極的な参加。</p> <p>(2) 県教育委員会事業等を利用した取組 「行きたい学校づくり」推進事業指定を受け、教員志望の生徒を増やし、汎用的な資質・能力を育成する取組を実施する。</p> <p>ア 小中高大連携授業</p> <p>(ア) サマーステップアップ教室 焼津市教育委員会主催の小中学生対象の夏季休業中の勉強会に、生徒がボランティア講師として参加</p> <p>(イ) 中高大連携授業 第1回（7月6日）本校教員を講師とした化学変化の実験 第2回（7月13日）高校生が講師として理科・英語・家庭科の講座 第3回（9月20日）本校教員を講師とした光と音（物理・波の分野）の講座、実験及び工作</p> <p>イ 講演会・セミナー等の実施（中央セミナー）</p>	<p>オ</p> <p>(ア) 夕方の時間帯に実施し、265人の保護者の参加があった。保護者の満足度は85%を越し、関心の高さがうかがえた。</p> <p>(イ) 全体会後講師に加え現役の学生も交えて実施した学部別座談会では、各学部10から30人程度の希望生徒が参加し、学生生活や授業の様子を知る機会となった。熱心に質問する生徒の姿が見られた。</p> <p>(ウ) 生徒の満足度は96%。仲間と集中できる環境で長時間勉強をやり遂げ、大きな自信と学習意欲を得られた生徒が多かった。</p> <p>カ 学年部だけではなく学校全体で個別指導を行う予定</p> <p>キ 静岡大学入試問題説明会（9月12日）に教員2人が参加し、大学側と他校の教員とともに問題分析を行った。</p> <p>ク 7月17日（木）実施</p> <p>ケ 数学と英語の教員が予備校講師による大学入試指導に関する研修に参加し、指導力向上を図った。</p> <p>(2)</p> <p>ア</p> <p>(ア) 市内地域交流センターのうち5カ所で各2日間実施、延べ21人の生徒が参加した。</p> <p>(イ)</p> <p>第1回：中学生6人、高校生4人、大学生3人 第2回：中学生9人、高校生15人、大学生5人 第3回：中学生15人、高校生1人、大学生3人</p> <p>イ</p>

取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
<p>(ア) 5月15日：国際理解～日本在住の外国人の方から学ぼう～</p> <p>(イ) 6月10日：地域とつながる、未来をつくる、若者と考える 街づくり</p> <p>(ウ) 7月11日：Stanford e-Japan を終えて</p> <p>(エ) 7月18日：建設中の校舎を見てみよう</p> <p>(オ) 7月18日：高校生のためのカウンセリング入門Ⅰ</p> <p>エ グローバル教育 British Hills 語学研修（8月6日～8日） 1年生54人、2年生9人参加</p>	<p>(ア) 生徒30人参加</p> <p>(イ) 生徒13人参加</p> <p>(ウ) アメリカの大学の通信教育を受けていた3年生生徒が実施報告を行った。生徒5人参加。</p> <p>(エ) 県財務部建築企画課主催。建設中の新校舎の見学会を行った。生徒37人参加。</p> <p>(オ) 生徒24人参加。</p> <p>エ 参加希望者が多く引率教員を急遽2人として実施。参加生徒のアンケートは集計中。</p>
<p>4 部活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度より1年生は全員加入、2年生以降任意加入とし、学習と部活動の両立を目指している。任意加入の生徒は「探究部」所属とし、課外において個人や仲間と探究活動を行うこととした。 <p>加入率 100%</p> <p>運動部 57.1% 男子 69.8% 女子 43.1%</p> <p>文化部 40.2% 男子 25.7% 女子 56.1%</p> <p>同好会 2.4% 男子 4.3% 女子 0.2%</p> <p>探究部 0.4% 男子 0.2% 女子 0.5%</p>	<p>4 部活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在探究部所属生徒は3人。他の生徒は、既存の部活動に所属し、文武両道を目指している。 ・全国総合体育大会出場（弓道部、レスリング部）
<p>5 教育相談・特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援心理アドバイザー、スクールカウンセラー及び相談室担当教諭、養護教諭との連携を進めている。職員会議では、特別な配慮を要する生徒について丁寧に説明している。 ・校内研修会（8月25日）「教師にできる自殺予防」のテーマで、静岡いのちの電話の研修委員長に講師を依頼した。 	<p>5 教育相談・特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月30日職員会議において特別な配慮を擁する生徒について情報共有 ・校内研修会では、自ら命を絶とうとする生徒に対して、どのような支援をしていくのが良いか、具体的にお話いただいた。

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員								合計		
	教育職員						行政職員						本務計	教諭(臨)	非常勤嘱託員	実習助手(臨)	非常勤講師	部活動指導員	非常勤労務職員	外国語指導講師		臨時等計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計											
転出者	0	0	1	7	0	0	8	0	2	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
退職者	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	1	1	0	0	6	8
転入者	0	0	0	9	1	0	10	0	1	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
新任者	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	2	0	1	0	4	6	6
役職定年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引増減	0	0	0	0	1	0	1	0	Δ1	0	1	0	1	1	0	0	Δ2	Δ1	0	0	Δ2	Δ1	Δ1

(2) 現員数 (令和7年8月31日現在)

(単位：人)

職名 区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員								合計	
	教育職員						行政職員						本務計	教諭(臨)	非常勤嘱託員	実習助手(臨)	非常勤講師	部活動指導員	非常勤労務職員	外国語指導講師		臨時等計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計										
男	1	0	1	33	0	0	35	1	1	0	0	2	37	1	0	1	3	1	3	0	9	46
女	0	1	0	12	2	1	16	0	2	0	1	3	19	0	0	0	0	0	0	1	1	20
計	1	1	1	45	2	1	51	1	3	0	1	5	56	1	0	1	3	1	3	1	10	66

*再任用教諭：フルタイム3人 週19時間25分4人

(3) 健康管理について

定期健康診断の受診を周知徹底し、疾病の早期発見と早期治療に取り組んでいる。

年間を通して職員会議後に「職員衛生委員会」を開き、教職員の健康状態の把握、よりよい職場環境作りについての話し合いを実施。また、健康管理医による健康相談及び指導を行っている。

ア 令和6年度

(ア) 健康診断結果

定期健康診断(人間ドック、指定を含む)での受診率は100%であり、60人のうち、要精検・要再検の者14人、要受診の者2人だった。対象者は主治医等で検査・受診した。

(イ) 職員衛生委員会

実施日	内容
令和6年 4月26日	衛生委員会顔合わせ・活動方針検討
5月2日	熱中症対策、時間外勤務の縮小について
6月14日	熱中症予防・対策の呼びかけ
7月17日	職員室給湯場の使い方について、校内安全点検の確認
8月29日	定時退庁の呼びかけ
9月9日	ストレスチェック実施の呼びかけ
10月17日	希望者（職員）へのインフルエンザ予防接種実施について
11月21日	校内安全点検の実施、衛生委員会規約の見直し
12月19日	健康診断後の受診率向上策、職員室の加湿器設置検討
令和7年 1月30日	職員健康診断 DB 入力の呼びかけ
2月7日	廊下及び階段の清掃用具見直し、教室加湿器の設置効果
3月19日	職員室前学習スペースの寒さ対策

イ 令和7年度

(ア) 健康診断結果

定期健康診断（人間ドック、指定年齢検診を含む。）は、現在実施中である。

(イ) 職員衛生委員会

実施日	内容
令和7年 4月30日	衛生委員会顔合わせ・活動方針検討
5月1日	職員室及び休養室について
6月13日	熱中症予防・対策の呼びかけ
7月16日	熱中症予防・対策について、校内安全点検の確認
8月25日	新校舎について

(4) 教職員の研修について

ア 令和6年度

前年度より引き続き、『個別最適な学び』や『協働的な学び』の実現のために1人1台端末やICTを活用した授業・学習指導の探究をテーマに校内研修を計画・実施した。令和6年度は「1人1台端末の活用事例共有」を軸に校内研修を展開した。82.3%の生徒が1人1台端末の学校生活で日常的に活用していると回答し、オンラインの学習支援サービスについては80%の生徒が有効活用していると回答した。また、93%の教員が授業評価アンケートを授業改善に生かした、87%の教員が1人1台端末やICTを活用した授業や学習指導について研究した、95%の教員がICTを公務や授業で活用していると回答。一方、他教員の授業参観については、約35%の教員が積極的に行えなかったと回答している。業務多忙な中、授業の相互参観を通じた授業改善の機会が持ちづらくなっていることが課題である。

またもう一つの研修テーマとして、総合的な探究の時間の深化のためにルーブリック評価の検討を行った。ルーブリックを作成し、それを使用後に校内研修を持ち「総合的な探究の時間」に

ついてグループディスカッションを行ったことで、職員間の相互理解が深まり、今後の課題の共有ができた。ディスカッション時に、Canva を使用して意見交換を行ったことで、Canva について興味をもった教員もいた。各教員が、「総合的な探究の時間」の在り方について課題意識や意見を持っていながらも、全体で共有する機会がなかったこともあり、一層活発な議論がなされた。

テーマ	具体的取組	成果・課題
校内研修 「総探」の 評価・1人 1台端末や ICTを活用 した授業・ 学習指導の 探究	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年7月18日(木) <p>「総合的な探究の時間」の評価に必要なとなるループリック作成にあたり、評価の観点や規準についてグループ討議を行う。その際にデザインプラットフォームのアプリケーションCanvaを利用し、KJ法でブレインストーミングを行い、ICT機器の利用研修を兼ね、授業での活用につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な探究の時間」のためのループリック作成は喫緊の課題だが、そもそもループリック評価とは何か、というところから少人数のグループ討議により理解を深めることができた。また新たなアプリケーションを実際に利用しながら進めることで、参加した教員同士の教え合いが深まり、活用への機運が高まる研修となった。
公開授業	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 5月20日(月)～6月7日(金) 授業見学週間①(教員相互参観) (イ) 6月17日(月)～21日(金) 公開授業週間(保護者対象) (ウ) 10月28日(月)～11月15日(金) 授業見学週間②(教員相互参観) (エ) 10月19日(土) 学校公開日(中学生及びその保護者対象) 	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 授業見学週間を設定し教科の枠を越えての授業見学により、授業力の向上に役立った。 (イ) 保護者だけではなく中学生の見学者も多く、感想も概ね好意的だった。一方、出張等で自習になった場合の対応など、工夫が必要である。 (ウ) 2学期にも授業見学の機会を設定し、実施した。ただ、相互参観を実施した教員はあまり多くなかった。
スクール・ポリシーに基づいたカリキュラム・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 9月26日(木)の定期訪問時に校内研修会を実施した。スクール・ポリシーを各教科の授業に落とし込んでいくために、スクール・ポリシーと評価を結びつける手立てについて、講義や先進事例を紹介していただき、教員間で協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や総合的な探究の時間においては、スクール・ポリシーを意識した評価や教育課程上の位置づけが意識されているが、各教科の授業にまで反映されていない現状を解決していく機会となった。
生徒による授業評価アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 1学期末と2学期末の2回実施。授業改善に役立てるとともに、改善状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期末には各教諭が1集団以上で実施した。それを2学期の授業改善につなげ、成果を2学期末のアンケートで確認した。

イ 令和7年度

令和7年度の研修テーマのひとつは、「総合的な探究の時間におけるゼミ活動とリアルアクションの検証～より深い学びに繋げるために～」とした。現在進路課・スパイラルアップ委員会を中心となって推進している総合的な探究の時間において、令和6年度後半より新たに始めたゼミ活動を検証することで、今後の授業計画の改善点や課題を職員間で共通理解を深めながら、探究

活動全般における質の向上につなげたいと考えている。

二つ目のテーマは「スクール・ポリシーの実現を目指した教科指導～他教科の指導法から改善点を探る～」とした。「進路実現」を主たる内容としたスクール・ポリシーの実現に向け、各教科での指導や取組について情報共有する時間を担保し、相互理解と授業改善につなげる機会とすることが、テーマ設定の理由である。教科内での共通理解は教科会や教科別研修会でできるのので、「主体的対話的で深い学び」を促す効果的な課題設定のあり方について、他教科からの新たな視点で検証し授業改善につなげると共に、学校全体のチーム力の向上を図りたいと考えている。

テーマ	具体的取組	成果・課題
総合的な探究の時間におけるゼミ活動とリアルアクションの検証	(ア) 5月23日(金)総合的な探究の時間全体発表会：令和6年度に作成したルーブリックを使い評価した。 (イ) 7月17日(木)校内研修：ゼミ活動について検証を行い、その改善に向け職員の共通理解を深めた。	(ア) ルーブリックを生徒相互評価にも活用することで、生徒は何を評価すればよいのかと同時に、自分たちの発表についても何が評価されるのかを理解し発表することができた。 (イ) 探究学習を中心に忌憚のない意見交換を行う中で、課題や今後の方向性の共有ができた。
スクール・ポリシーの実現を目指した教科指導	(ア) 6月3日(火)～23日(月)授業見学週間(教員相互参観) (イ) 7月17日(木)校内研修：それぞれの授業について意見交換 (ウ) 10月27日(月)～11月14日(金)授業見学週間(教員相互参観) (エ) 12月9日(火)定期訪問：研修において検証及び意見交換	(ア) 教科を超えた研修グループを作り、そのメンバーで相互に授業参観をするように依頼し、前年度よりも多くの教員が授業参観できた。 (イ) 参観したそれぞれの授業について他教科の教員から意見をもらうことで、授業づくりの新しい視点を得た教員が多かった。7月に実施した授業アンケートも見ながら、各教員が授業改善に向けて取り組んでいる。
公開授業	(ア) 6月16日(月)～20日(金)公開授業週間(保護者対象) (イ) 10月18日(土)学校公開日(中学生及びその保護者対象)	(ア) 授業や学校生活の様子から、良い雰囲気と生徒の成長を感じた保護者が多かった。また、授業に真剣に取り組む様子や先生の姿に好印象を持ち、安心感を得たとの声もあった。
生徒による授業評価アンケート	・1学期末と2学期末の2回実施。授業改善に役立てるとともに、改善状況を確認する。	・1学期末には各教諭が1集団以上で実施した。それを2学期の授業改善につなげ、成果を2学期末のアンケートで確認する予定。

6 防災対策について

(1) 基本方針(本校における危機管理の基本原則)

- 生徒の生命、安全の確保を第一とする。
- 指揮・命令、報告・連絡の徹底を図り、学校全体として組織的な対応を行う。
- 地域、保護者や関係機関と密接な連携を図り、一体となって対応する。

(2) 防災組織

「学校警備および防災計画書」「学校安全教育計画書」「学校安全計画」「危機等発生時対処要領」及び「消防計画」に基づいて、防災教育や危機対応教育を行い、防災・危機に関する意識の高揚を図るとともに、設備の充実、避難訓練の計画、各部署との連絡調整を図っている。

次の委員を置き、それぞれの業務を分担している。

ア 防災管理委員

(ア) 防災計画書の作成と実践についての審議

(イ) 防災設備の点検

(ウ) 防災意識の高揚

イ 各室管理責任者

各教室、教科準備室等に管理責任者を配置して、防火防災に努めている。

(3) 内容及び成果

ア 防災意識の高揚

本校の学校防災対応マニュアルの活用や生徒防災委員会の活動を通して、防災意識の高揚に努めている。

イ 防災訓練

(ア) 令和6年度

第1回	5月1日	中学校区で分かれ、地区長や学年責任者を選出した。また、集団下校小集団に分かれ、新入生との顔合わせのあと、集団での下校路を確認した。
第2回	9月3日	大規模地震発生時の一次避難を教室内で実施。その後、雨天のため、二次避難として仮設校舎から体育館へ避難した。避難経路の確認、避難時間の計測を確実に行った。
第3回	9月26日	放送による抜き打ち一次避難訓練。それぞれの場所で地震から身を守る「まず低く」「頭を守り」「動かない」の3つの安全確保行動を1分間実施した。
第4回	12月1日	静岡県地域防災訓練への参加を促し、参加報告を求めた。

(イ) 令和7年度

第1回	4月28日	大規模地震発生時の一次避難訓練を教室内で、その後二次避難訓練として仮設校舎から体育館へ移動した。その後中学校区で分かれ、地区長や学年責任者を選出した。また、集団下校小集団に分かれ、新入生との顔合わせのあと、集団での下校路を確認した。
第2回	10月27日	新校舎からの避難訓練（詳細未定）
第3回	9月26日	放送による抜き打ち一次避難訓練。それぞれの場所で地震から身を守る「まず低く」「頭を守り」「動かない」の3つの安全確保行動を1分間実施する予定。
第4回	10月19日	令和7年度静岡県総合防災訓練（焼津市・藤枝市が会場）への積極的な参加を呼び掛ける。
臨時	8月27日 9月2日	JR 東海主催津波避難誘導訓練に、防災委員が参加。列車乗車時の地震による津波発生を想定した避難訓練に参加した。

ウ 地域との連携（地域自主防災会との協力）

定期的に会議（地震防災地域連絡会議）を開き、地区の自主防災会組織等と大規模地震の際の協力体制や避難所の運営等について協議を重ねている。

(ア) 令和6年度

令和7年1月22日実施。焼津市立豊田中学校、焼津市立豊田小学校、豊田幼稚園、

豊田第9自治会、豊田第10自治会、焼津市防災地域防災課、焼津市防災部防災計画課、焼津市健康福祉部健康づくり課から担当者が出席し、意見交換を実施した。また、近隣の保育園防災担当者もオブザーバーとして参加していただき、情報交換を行った。

(イ) 令和7年度

11月下旬、地震防災地域連絡会議を開催予定。

参加予定者は以下のとおり。

出席者：焼津市防災部地域防災課防災担当、焼津市第10自治会(会長、副会長、防災委員長)
 焼津市立豊田中学校(教頭)、焼津市立豊田小学校(教頭)、焼津中央高校(副校長、教頭、事務長、総務課長、防災担当)

内 容：発災時の初動体制、中学校の避難所運営、自治会の災害対応行動など
 その他、焼津市防災担当と定期的に連絡を取っている。

エ 防災ヘルメット等の常備

緊急時の安全対策として生徒にヘルメット(又は防災頭巾)を常備させている。年度当初、全校生徒に持参又は購入させて机の横や教室内、ロッカーに保管。定期的にヘルメット等の所持検査を実施している。

7 学校開放について

令和6年度

学校開放委員会に申請があった1団体の利用があった。

(利用状況)

施設名	利用種目	利用日数(日)	利用者数(人)	利用者負担金(円)
普通教室 視聴覚室	土曜補講 校外模試	33	19,715	空調設備電気料 150,913

令和7年度

学校開放委員会に申請があった1団体が利用している。

(利用状況)

(令和7年8月31日現在)

施設名	利用種目	利用日数(日)	利用者数(人)	利用者負担金(円)
普通教室 視聴覚室	土曜補講 校外模試	11	4,226	空調設備電気料 0

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条、第47条の5） 静岡県立学校管理規則 いじめ防止対策推進法（第8条） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県教育委員会保有個人情報開示事務等取扱要綱 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条）

学校施設の概要

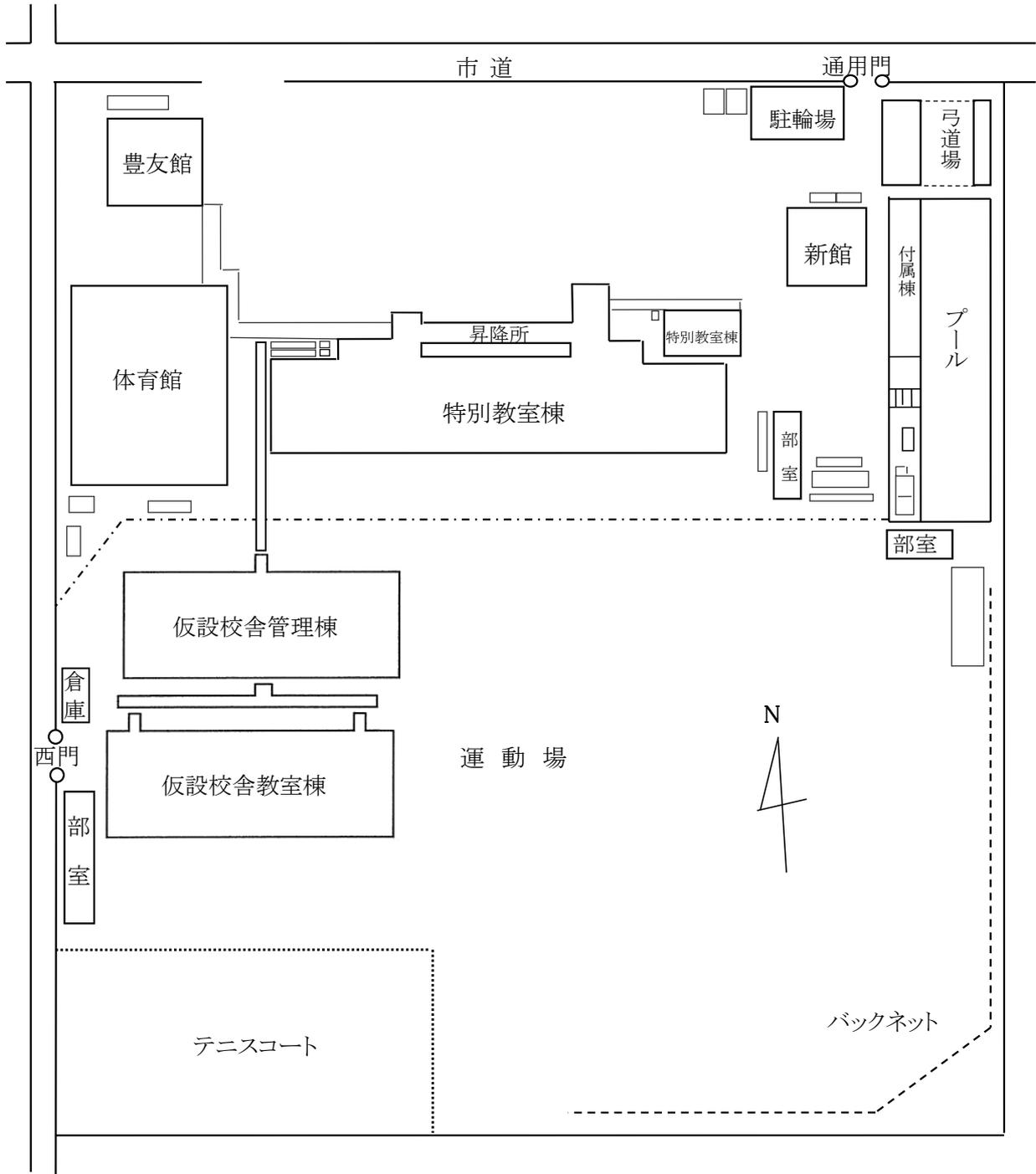
1 面積及び所有区分

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	38,312.44	38,312.44					
内 訳	校 舎 敷 地	15,217.50	15,217.50				
	運 動 場 敷 地	23,094.94	23,094.94				
校 舎	建 3,189.40	1,530.73				1,658.67	民有は改修に伴う仮設校舎 (民間からのリース) 借受期間 R5. 8. 1~ R7. 10. 31
	延 7,048.39	3,763.77				3,284.62	
体 育 館	建 1,470.94	1,470.94					
	延 2,610.84	2,610.84					
その他の建物	建 1,341.34	1,341.34					
	延 1,741.34	1,741.34					
生 活 館	建 435.56				435.56		
	延 1,096.39				1,096.39		
プ ー ル	900.00	900.00					50m×18m 8コース
職 員 住 宅	12戸	12戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	38,312.44㎡	7,048.39㎡	23,094.94㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

※当校の校舎延面積には、改修に伴う仮設校舎（民間からのリース）3,284.62㎡を含む。

借受期間 令和5年8月1日～令和7年10月31日

在 籍 生 徒 調

(令和7年8月31日現在)

学年	学科別 区分		全日制普通科													
			定員	男子	女子	計										
1年	入学者		280	165	122	287										
		増加														
		減少					1	1								
	現在						165	121	286							
2年	入学者						280	141	146	287						
		増加			(1)	(1)										
		減少					2	6	8							
	2年時当初						139	141	280							
		増加														
		減少														
	現在													139	141	280
3年	入学者													280	144	143
		増加														
		減少												4	3	7
	2年時当初													140	140	280
		増加							1	1						
		減少									3	2(1)	5(1)			
	3年時当初										137	138	275			
		増加														
		減少														
現在		137														
合 計			441	400	841											

入学志願者及び入学者数調

区 分		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
学 科 別		全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科	全日制普通科
生徒定員 (A)		280	280	280	280	280
募集者数 (B)		280	280	280	280	280
志願者数	男	145 ()	144 ()	177 ()	158 ()	165 ()
	女	152 ()	151 ()	153 ()	158 ()	123 ()
	計 (C)	297 ()	295 ()	330 ()	316 ()	288 ()
受検者数	男	143 ()	141 ()	170 ()	157 ()	165 ()
	女	150 ()	150 ()	151 ()	158 ()	122 ()
	計 (D)	293 ()	291 ()	321 ()	315 ()	287 ()
合格者数	男	140 ()	139 ()	144 ()	141 ()	165 ()
	女	147 ()	148 ()	143 ()	146 ()	122 ()
	計 (E)	287 ()	287 ()	287 ()	287 ()	287 ()
志願倍率 (C)/(B)		1.06	1.05	1.17	1.12	1.02
受検倍率 (D)/(B)		1.04	1.03	1.14	1.12	1.02
入学者数	男	140	139	144	141	165
	女	147	148	143	146	122
	計 (F)	287	287	287	287	287
充足率 (F)/(A)		1.02	1.02	1.02	1.02	1.02

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			
年 度		4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		278	283	283	
内 訳	(進学志願者)	(273)	(283)	(281)	
	進 学 者	大学・短大	271	267	266
		専修・各種学校等	3	9	15
		小 計	274	276	281
	就職者		1	0	2
	自営者		0	0	0
	進学準備者		3	7	0
	その他		0	0	0
合 計		278	283	283	

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	1	0	2
求 人 数	1	0	5
求人倍率	1	0	2.5

3 資格取得状況

(6年度)

学 科 別	全日制普通科
卒業生徒数	283
資格の取得状況 (種類別)	0
合 計	0

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

市町名	焼津市	藤枝市	島田市	牧之原市	吉田町	その他	合計
生徒数	364	311	114	16	25	11	841
構成比%	43.3%	37.0%	13.6%	1.9%	3.0%	1.2%	100%

(2) 通学方法 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分	自転車	公共交通機関	徒歩	その他	合計
生徒数	732	73	19	17	841
構成比%	87.0%	8.7%	2.3%	2.0%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年8月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	探究部	計
部(クラブ)数		15	14	1	30
男子	1年	115	49		164
	2年	97	42		139
	3年	92	45	1	138
	計(A)	304	136	1	441
	構成比	69.0%	30.8%	0.2%	100%
	女子	1年	55	66	1
2年		55	85	1	141
3年		62	74	1	137
計(B)		172	225	3	400
構成比		43%	56.25%	0.75%	100%
合計		(A+B)	476	361	4
	構成比	56.7%	42.8%	0.5%	100%

(全日制)

授業料収納状況調

(令和6年度)

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額		納 期 後 収 納 額		収 入 未 済 額
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額		収 納 率			
人	円	人	円	人	円	人	円	円	%		円			
一 期	4													
	5													
	6													
	7	80	2,376,000	70	2,079,000	60	1,772,100	210	6,227,100	6,138,000	98.6		89,100	
	8											89,100	0	
	計	80	2,376,000	70	2,079,000	60	1,772,100	210	6,227,100	6,138,000	98.6	89,100	0	
二 期	7													
	8	1	9,900					1	9,900				9,900	
	9			1	9,900			1	9,900	19,800	100			
	10	84	4,158,000	68	3,356,100	67	3,316,500	219	10,830,600	10,731,600	99.1		99,000	
	11	▲1	▲9,900					▲1	▲9,900	▲9,900		99,000	0	
	計	84	4,158,000	69	3,366,000	67	3,316,500	220	10,840,500	10,741,500	99.1	99,000	0	
三 期	12													
	1	83	3,286,800	68	2,692,800	67	2,653,200	218	8,632,800	8,434,800	97.7		198,000	
	2											198,000	0	
	3													
	計	83	3,286,800	68	2,692,800	67	2,653,200	218	8,632,800	8,434,800	97.7	198,000	0	
合 計	247	9,820,800	207	8,137,800	194	7,741,800	648	25,700,400	25,314,300	98.5	386,100	0		

※令和7年8月31日現在 授業料収納状況 該当無し

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 8 月 31 日 現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	284	0

預 金 調

(令和7年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高(円)	摘 要
静岡銀行 焼津支店	無利息型 普通預金	0148291	静岡県立焼津中央高等学校 資金前渡者 遠山 一郎	0	給料振込用
しずおか焼津 信用金庫 豊田支店	無利息型 普通預金	0221723	静岡県立焼津中央高等学校 資金前渡者 遠山 一郎	0	光熱水費等 自動振替用
残 高 合 計				0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	4,045,800	33,000	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	623,799	611,875	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	49,500	49,500	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	895,600	
計				4,719,099	1,589,975	0	
(14)工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	792,000	6,633,000	4,345,000
計				792,000	6,633,000	4,345,000	
(16)公有財産購入費					0	0	
計					0	0	0
(17)備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,370,050	253,000	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	970,200	
計				1,370,050	1,223,200	0	
(18)負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	78,204,400	74,980,700	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	141,900	
計				78,204,400	75,122,600	0	
(21)補償、補填及び賠償金					0	0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						左のうち、6年度からの繰越額分
(12)委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	49,500	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	0	
計				49,500	0	
(14)工事請負費					0	
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	
計					0	0
(17)備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	
計				0	0	
(18)負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	17,826,000	
計				17,826,000	0	
(21)補償、補填及び賠償金					0	
計					0	0

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約締結方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) ブランドホスター 作製業務委託	(株)共立 アイコム	円 85,800	円 85,800	円 0	円 85,800	随契	R 6. 4. 30 ～ R 6. 6. 28	R 6. 7. 3	円 85,800	学校PR用ブランドホスター作製	随契1号(少額)
2	原子力・エネルギー教育支援事業 研修手配業務委託	(株) アンビ・ ア旅行事業部	912,150	886,230	9,370	895,600	随契	R 6. 6. 26 ～ R 6. 9. 30	R 6. 9. 6	895,600	研修手配業務委託	随契1号(少額)
3	産業廃棄物 収集運搬処分業務委託	(株) トゥース リー	49,500	49,500	0	49,500	随契	R 6. 4. 16 ～ R 6. 8. 30	R 6. 9. 9	49,500	3 m ³ コンテナ ボックス校内設置、 混合廃棄物 回収・運搬処分	随契1号(少額)
4	産業廃棄物 収集運搬業務委託	日本産業 廃棄物処理(株)	66,000	66,000	0	66,000	随契	R 6. 10. 31 ～ R 7. 3. 27	R 6. 12. 19	66,000	水銀使用製品の 回収・運搬	随契1号(少額)
5	プール浄化 装置保守点 検業務委託	大学産業 (株)	316,800	297,000	△49,500	247,500	随契	R 6. 4. 4 ～ R 6. 12. 20	R 6. 12. 26	247,500	プールの過機・ 循環ポンプ・滅 菌機他点検業務 年3回点検(始 業・中間・終 了)	随契1号(少額) 焼津水産高校 藤枝北高校 藤枝西高校 藤枝特別支援学校
6	産業廃棄物 処分業務委託	(株)リフ レックス	99,000	99,000	0	99,000	随契	R 6. 10. 31 ～ R 7. 3. 27	R 6. 12. 26	99,000	水銀使用製品処 分	随契1号(少額)
7	教職員住宅 消火器点検 業務委託	消防設備 保全(株)	33,000	33,000	0	33,000	随契	R 6. 6. 3 ～ R 7. 2. 28	R 7. 1. 28	33,000	教職員住宅共 用部分設置の 消火器点検	随契1号(少額)
8	産業廃棄物 収集運搬処分業務委託	(株)静岡 資源	99,275	99,275	0	99,275	随契	R 7. 1. 6 ～ R 7. 3. 24	R 7. 3. 18	99,275	4 m ³ コンテナ ボックス校内設 置、混合廃棄 物・廃蛍光管及 び乾電池の回 収・運搬・処分	随契1号(少額)
9	廃プラス チック類収 集運搬処分 業務委託	(有)山一 カレット	運搬料(1回) @10,000+税 処分料(1kg) @50+税	運搬料(1回) @10,000+税 処分料(1kg) @50+税	0	運搬料(1回) @10,000+税 処分料(1kg) @50+税	随契	R 7. 1. 30 ～ R 7. 3. 24	R 7. 4. 8	14,300	廃プラスチック類の回収・ 運搬・処分	随契1号(少額) 単価契約
	事務関係計	9件								1,589,975		
	合 計	9件								1,589,975		

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	消防設備保全(株)		7,590,000	678,647	8,268,647		R 6. 4. 1 ~ R 7. 3. 31			藤枝北高校外6校消防用設備等保守点検業務	藤枝北高校
参考2	浄化槽保守点検業務委託	ニッケン消毒(株)		520,850	0	520,850		R 6. 4. 1 ~ R 7. 3. 31			清流館高校外3校浄化槽保守点検業務	清流館高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務委託	環境のミカタ(株)		運搬料(1回) @8,140 処分料(1kg) @15.4	0	運搬料(1回) @8,140 処分料(1kg) @15.4		R 6. 4. 12 ~ R 7. 3. 31			藤枝西高校外5校可燃物収集運搬処分業務	藤枝西高校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	野村電気保安管理事務所		1,557,600	0	1,557,600		R 6. 4. 1 ~ R 7. 3. 31			焼津水産高校外1校自家用電気工作物保安管理業務	焼津水産高校
参考5	警備業務委託	セコム(株)		7,392,000	0	7,392,000		R1.10. 1 ~ R6. 9. 30			藤枝東高校外6校警備業務	藤枝東高校
参考6	警備業務委託	セコム(株)		10,692,000	0	10,692,000		R6.10. 1 ~ R11. 9. 30			藤枝東高校外6校警備業務	藤枝東高校
参考7	建築基準法第12条定期点検業務委託	青島彰一級建築士事務所		2,090,000	0	2,090,000		R 6. 10. 1 ~ R 7. 1. 31			焼津藤枝地区県立学校建築基準法第12条定期点検業務	藤枝東高校
	事務関係計	7件										

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) プール浄化装置保守点検業務委託	大学産業(株)	円 316,800	円 297,000	円 0	円 297,000	随契	R 7. 4. 4 ～ R 7. 12. 19		円	プールろ過機・循環ポンプ・滅菌機他点検業務 年3回点検(始業・中間・終了)	随契1号(少額) 焼津水産高校 清流館高校 藤枝北高校 藤枝西高校 藤枝特別支援学校
2	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)トウスイリー	49,500	49,500	0	49,500	随契	R 7. 4. 21 ～ R 7. 8. 26	R 7. 6. 20	49,500	3m ³ コンテナボックス校内設置、混合廃棄物収集・運搬処分業務	随契1号(少額)
3	教職員住宅消火器点検業務委託	消防設備保全(株)	33,000	33,000	0	33,000	随契	R 7. 6. 2 ～ R 8. 2. 27			教職員住宅共用部分設置の消火器点検業務	随契1号(少額)
4	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)アドバンス中部サービス	99,000	99,000	0	99,000	随契	R 7. 7. 18 ～ R 7. 10. 31			8m ³ コンテナボックス校内設置、混合廃棄物収集・運搬処分業務	随契1号(少額)
5	産業廃棄物収集運搬処分業務委託	(株)静岡資源	57,200	57,200	0	57,200	随契	R 7. 8. 15 ～ R 7. 12. 19			整地ローラー外の回収・運搬・処分	随契1号(少額)
	事務関係計	5件								49,500		
	合 計	5件								49,500		
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	消防設備保全(株)		8,030,000	0	8,030,000		R 7. 4. 1 ～ R 8. 3. 31			藤枝北高校外6校消防用設備等保守点検業務	藤枝北高校
参考2	浄化槽保守点検業務委託	ニッケン消毒(株)		662,200	△ 32,854	629,346		R 7. 4. 1 ～ R 8. 3. 31			清流館高校外3校浄化槽保守点検業務	清流館高校
参考3	可燃物収集運搬処分業務委託	環境のミカタ(株)		運搬料(1回)@9,020 処分料(1kg)@15.4	0	運搬料(1回)@9,020 処分料(1kg)@15.4		R 7. 4. 11 ～ R 8. 3. 31			藤枝西高校外5校可燃物収集運搬処分業務	藤枝西高校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	野村電気保安管理事務所		1,478,400	0	1,478,400		R 7. 4. 1 ～ R 8. 3. 31			焼津水産高校外1校自家用電気工作物保安管理業務	焼津水産高校
参考5	警備業務委託	セコム(株)		10,692,000	0	10,692,000		R6. 10. 1 ～ R11. 9. 30			藤枝東高校外6校警備業務	藤枝東高校
	計	5件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会 総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会 第76回総会・研究協議会	円 4,000	6.4.30
2	東海四県高等学校長連絡 協議会総会・研究協議会 参加費	東海四県高等学校長連絡 協議会	開催要項による	東海四県高等学校長連絡 協議会総会・研究協議会	2,000	6.7.5
3	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会	2,000	6.7.29
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅰ期分 644名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	19,097,100	6.7.31
5	British Hills 研修費	(株)ブリティッシュ・ヒルズ	事業計画書 による	研修施設(ブリティッシュヒ ルズ)にて実施する生徒対 象の英語語学研修	141,900	6.8.30
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅱ期分 631名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	31,155,300	6.10.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	9,900	7.1.9
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 625名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	24,750,000	7.1.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	△ 29,700	7.2.4
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅲ期分 1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	△ 9,900	7.2.28
計		10件			75,122,600	

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会 総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会 第77回総会・研究協議会	円 4,000	7.4.30
2	東海四県高等学校長連絡 協議会総会・研究協議会 参加費	東海四県高等学校長連絡 協議会	開催要項による	東海四県高等学校長連絡 協議会総会・研究協議会	2,000	7.7.17
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第Ⅰ期分 600名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	17,820,000	7.7.31
計		3件			17,826,000	

建 築 工

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育管理費	静岡県立焼津中央高等学校プールろ過機ろ材更新等工事	焼津市小土地内	円 4,488,000	円 4,345,000	円 0	円 4,345,000
2	教育管理費	静岡県立焼津中央高等学校特別教室棟トイレ改修工事	焼津市小土地内	円 2,475,000	円 2,288,000	円 0	円 2,288,000
		合 計	2 件				

(参考)

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟解体工事	焼津市小土地内	円 129,360,000	円 85,800,000	円 2,508,000	円 88,308,000
2	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟新築工事 (建築)	焼津市小土地内	円 1,625,701,000	円 1,567,500,000	円 55,341,000	円 1,622,841,000
3	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟新築工事 (電気設備)	焼津市小土地内	円 242,176,000	円 240,350,000	円 11,176,166	円 251,526,166
4	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟新築工事 (機械設備)	焼津市小土地内	円 238,898,000	円 229,885,700	円 24,827,753	円 254,713,453

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出金額	工事概要	公有財産台帳	摘要
指名	大学産業㈱	R 6. 2. 9 ～ R 6. 4. 25	円 4,345,000	ろ過機ろ材取替 4,550L ろ過機内面塗装 19.4㎡ ろ過機外面塗装 22.1㎡	-	令達 R 6. 1. 25 支払 R 6. 6. 5 R 5 繰越
随契	藁科設備工業㈱	R 7. 1. 27 ～ R 7. 3. 26	円 2,288,000	2階男子トイレ改修 小便器 3組・配管取替 1階女子トイレ改修 大便器 1組・配管取替 トイレブース改造他 扉改 造・天井点検口開口2ヶ所	-	令達 R 7. 1. 8 支払 R 7. 4. 15
			円 6,633,000			

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出金額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	㈱トゥースリー	R5. 8. 29 ～ R6. 4. 24	円 88,308,000	管理教室棟の解体工事	済	本庁経理 建築工事課 R 5 繰越
一般	㈱橋本組	R6. 3. 19 ～ R7. 9. 12	円 0	新校舎の建築工事	-	本庁経理 建築工事課 R 5 債務
一般	北堀電気工事㈱	R6. 2. 7 ～ R7. 9. 12	円 9,610,000	新校舎の電気工事	-	本庁経理 設備課 R 5 債務
一般	㈱ハローG	R6. 2. 7 ～ R7. 9. 12	円 0	新校舎の機械設備工事	-	本庁経理 設備課 R 5 債務

建 築 工

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
		該当なし		円	円	円	円
		合 計	件				

(参考)

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟新築工事 (建築)	焼津市小土地内	1,625,701,000	1,567,500,000	55,341,000	1,622,841,000
2	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟新築工事 (電気設備)	焼津市小土地内	242,176,000	240,350,000	11,176,166	251,526,166
3	教育管理費	焼津中央高等学校管理教室棟新築工事 (機械設備)	焼津市小土地内	238,898,000	229,885,700	24,827,753	254,713,453

事 調

(令和7年度)

(令和7年8月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
		~	円			
			円			

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	株橋本組	R6.3.19 ~ R7.9.12	円 0	新校舎の建築工事	-	本庁経理 建築工事課 R5債務
一般	北堀電気工事(株)	R6.2.7 ~ R7.9.12	円 9,610,000	新校舎の電気工事	-	本庁経理 設備課 R5債務
一般	株ハローG	R6.2.7 ~ R7.9.12	円 0	新校舎の機械設備工事	-	本庁経理 設備課 R5債務

繰 越 工

整理 番号	予算科目	事業（箇所）名 及 び 内 訳	事業箇所	契 約 額	前 年 度 施 行 額 支 払	繰 越 額
1	教育管理費	静岡県立焼津中央高 等学校プールろ過機 ろ材更新等工事	焼津市小土地内	円 4,345,000	円 0	円 4,345,000
		合 計	1 件			4,345,000

事 調

(令和5年度から令和6年度へ繰越分)

(令和6年度)

同左支出済額	支出未済額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	繰越理由
円 4,345,000	円 0	指名	大学産業(株)	R 6. 2. 9 ～ R 6. 4. 25	工事の施工に伴い、既存塗料に鉛の含有が判明し、溶出検査・運搬処分のため25日の日数を要した。
4,345,000	0				

公有財産調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,941,231		千円 0		千円 18,948		千円 2,922,283	
土地	m ² 38,312.44	2,648,594					m ² 38,312.44	2,648,594	
立木竹	本 15	2,761			6	1,950	本 9	811	
建物	m ² 4,378.56 8,184.94	221,643			35.55 68.99	14,030	m ² 4,343.01 8,115.95	207,613	
工作物	個 64	68,233	1	0		2,968	個 65	65,265	
普通財産		156,432				14,110		142,322	
土地	m ² 975.60	73,107					m ² 975.60	73,107	
立木竹	本 13	361			13	361	本 0	0	
建物	m ² 1,219.02 4,209.46	73,859			923.59 3,475.27	4,644	m ² 295.43 734.19	69,215	
工作物	個 22	9,105			17	9,105	5	0	
公有財産に 準ずるもの		147						147	
電話加入権	件 5	147					件 5	147	

公有財産調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年8月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,922,283		千円 0		千円 0		千円 2,922,283	
土地	m ² 38,312.44	2,648,594					m ² 38,312.44	2,648,594	
立木竹	本 9	811					本 9	811	
建物	m ² 4,343.01 8,115.95	207,613					m ² 4,343.01 8,115.95	207,613	
工作物	個 65	65,265					個 65	65,265	
普通財産		142,322		0		0		142,322	
土地	m ² 975.60	73,107					m ² 975.60	73,107	
立木竹	本 0	0					本 0	0	
建物	m ² 295.43 734.19	69,215					m ² 295.43 734.19	69,215	
工作物	個 5	0					個 5	0	
公有財産に 準ずるもの		147						147	
電話加入権	件 5	147					件 5	147	

借地借家等調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務 所建	焼津市 小土 157-1	R C		m ² 435.56 1,096.39	—	無償	円 R5.4.1 ～ R8.3.31	(一社) 静岡県立焼 津中央高等 学校後援会 会長	生活館
2	〃	〃	〃	S		m ² 810.53 1,610.16	2,906,970	34,883,640	R5.8.1 ～ R7.10.31	東海リース (株)横浜支店 長	仮設校舎 管理棟
3	〃	〃	〃	S		m ² 848.14 1,674.46	—	(2に含 む)	R5.8.1 ～ R7.10.31	東海リース (株)横浜支店 長	仮設校舎 教室棟
小 計						4,381.01m ²		34,883,640			
4	工作 物	雑屋 建	焼津市 小土 157-1			23.76m ²	—	無償	R5.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立焼 津中央高等 学校野球部 父母会長	野球ベンチ
		雑工 作物				31.21m ²					スコアボード 観覧席
5	〃	雑工 作物	〃			70.70m ²	—	(2に含 む)	R5.8.1 ～ R7.10.31	東海リース (株)横浜支店 長	仮設渡り 廊下
6	〃	〃	〃			91.33m ²	—	(2に含 む)	R5.8.1 ～ R7.10.31	東海リース (株)横浜支店 長	仮設渡り 廊下
7	〃	冷暖 房装 置	〃			1個		2,510,635	R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・TCIー ス (株)静岡支店	特別教室 空調
小 計						1個 217.00m ²		2,510,635			
合 計						1個 4,598.01m ²		37,394,275			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)						
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
債務 負担 行為	仮設校舎 貸借	仮設校舎 管理棟・教室棟・渡 り廊下 (契約日) 令和4年12月22日	円 241,070,940	円 0	円 181,740,460	円 34,883,640	円 24,446,840	円 —	円 —	円 —
長期 継続 契約	電子複写機 貸借及び 使用契約	電子複写機16台 (焼津中央高校、焼津 水産高校、清流館高 校、藤枝東高校、藤枝 西高校、藤枝北高校、 藤枝特別支援学校) (契約日) 令和6年4月1日	円 15,774,000	円 —	円 —	円 3,154,800	円 3,154,800	円 3,154,800	円 3,154,800	円 3,154,800

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	焼津市小土 157-1	学校敷地		支線4本	1,500	6,000	円 R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電話支線
2	"	"	"	"		電柱6本 支線6本	1,500	18,000	R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	中部電力パワーグリッド (株)静岡支社藤枝営業所配 電建設グループ長	電気支柱 電気支線
3	"	"	"	"		0.03㎡		免除	R4. 4. 1 ～ R9. 3. 31	(株) TOKAIケーブルネット ワーク代表取締役社長	ケーブル 設置
4	"	"	"	"		26.04㎡		"	R4. 4. 1 ～ R9. 3. 31	焼津市長	防災倉庫 敷地
5	"	"	"	"		0.02㎡		"	R7. 4. 1 ～ R12. 3. 31	豊田第10自治会第4町内会 長	防犯灯 設置
6	"	"	"	"		0.09㎡		"	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	焼津市長	道路照明灯 設置
7	建物	事務所建	"	RC2F 廊下	体育館玄 関横	4.00㎡		466,400	R7. 4. 1 ～ R10. 3. 31	コカ・コーラボトラーズ ジャパン(株)静岡支店 西中部営業本部ペンディ ング中部営業地区統括部ペン ディング浜松支店長	飲料用自動 販売機設置
8	"	"	"	RC3F 3階	第2棟	3.30㎡		"	R6. 4. 1 ～ R9. 3. 31	静岡県立焼津中央高等学校 PTA会長	団体職員 執務場所
9	"	"	"	RC2F 1階	体育館玄 関	0.78㎡		"	R7. 4. 1 ～ R10. 3. 31	静岡県立焼津中央高等学校 PTA会長	昼食販売
10	"	学校敷地 雑屋建	"	学校敷地 CB1F	ガス庫	9.43㎡ 0.39㎡		1,740	R7. 4. 1 ～ R8. 3. 31	東海ガス株式会社取締役社 長	ガス整圧器 設置
11	土地	学校敷地	焼津市小土 157-1	学校敷地		支線4本	1,500	6,000	R2. 4. 1 ～ R7. 3. 31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電話支線
12	"	"	"	"		電柱6本 支線6本	1,500	18,000	R2. 4. 1 ～ R7. 3. 31	中部電力パワーグリッド (株)藤枝営業所配電建設グ ループ長	電気支柱 電気支線
13	"	"	"	"		0.01㎡		"	R2. 4. 1 ～ R7. 3. 31	焼津市長	防犯灯 設置
14	"	"	"	"		0.01㎡		"	R2. 4. 1 ～ R7. 3. 31	焼津市長	防犯灯 設置
15	"	"	"	"		23.76㎡		"	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	静岡県立焼津中央高等学校 野球部父母会長	工作物 (野球ベンチ) 敷地
16	"	"	"	"		10.99㎡		"	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	静岡県立焼津中央高等学校 野球部父母会長	工作物 (スコアボード) 敷地
17	"	"	"	"		20.22㎡		"	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	静岡県立焼津中央高等学校 野球部父母会長	工作物 (観覧席) 敷地
18	建物	事務所建	"	RC2F 廊下	体育館玄 関横	4.00㎡		908,600	R4. 4. 1 ～ R7. 3. 31	コカ・コーラボトラーズ ジャパン(株)静岡支店 中部日本地区統括部ペンディ ング浜松支店長	飲料用自動 販売機設置
19	"	"	"	RC2F 1階	体育館玄 関	0.78㎡		"	R5. 8. 30 ～ R7. 3. 31	静岡県立焼津中央高等学校 PTA会長	昼食販売
20	"	学校敷地 雑屋建	"	学校敷地 CB1F	ガス庫	9.43㎡ 0.39㎡		1,740	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	東海ガス株式会社取締役社 長	ガス整圧器 設置
21	工作物	囲障	"			5.28㎡		免除	R7. 6. 17 ～ R7. 7. 24	焼津市選挙管理委員会委員 長	選挙ホ スター 掲 示 場 設 置
合計								1,426,480			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	焼津市小土157-1	S 2 F 1階	事務室	3.30㎡		円 無償	R5. 8.14 ～ R7. 8.31	静岡県立焼津中央高等学校PTA会長	職員執務場所
2	建物	事務所建	焼津市小土157-1	S 2 F 1階	事務室	0.01㎡		無償	R5. 9. 1 ～ R7. 8.31	焼津市長	同報無線受信機設置
3	建物	事務所建	焼津市小土157-1	S 2 F 1階	事務室	0.12㎡		無償	R5. 9. 1 ～ R7. 8.31	焼津市長	防災無線送受信機設置
4	土地	宅地	焼津市焼津4丁目3-20	職員住宅敷地		電柱1本	1,500	1,500	R5. 4. 1 ～ R8. 3.31	中部電力パワーグリッド(株)藤枝営業所配電建設グループ長	電気支柱
5	土地建物	宅地住宅建	〃	RC 3F		土地 22m 建物 0.05㎡		1,840	R7. 4. 1 ～ R10. 3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	光通信設備設置
6	土地建物	宅地住宅建	〃	RC 3F		土地 22m 建物 0.05㎡		1,870	R4. 4. 1 ～ R7. 3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	光通信設備設置
合計								5,210			

職員公舎管理状況調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	Bの内 他事務所 職員 入居戸 (室)数	空屋戸 (室)数 (A-B)	摘要
1	焼津市焼津4丁目3-20	H5. 6	RC3F 1棟	12	4	3	8	藤枝北高校 1戸 静岡城北高校 1戸 静岡商業高校 1戸 空室 R元. 8. 1～ R3. 10. 1～ R3. 10. 21～ R4. 2. 24～ R6. 4. 1～ R6. 5. 1～ R7. 3. 1～ R7. 4. 1～
	計			12	4	3	8	

主要備品調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大 ・ 中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	I C T環境整備機器一式	授業日 (年間90日) 情報授業、進路学習、部活動	H30. 3	4,769,604 ^円
2	10-12	室内競技用器具	レスリングマット	部活動日 (年間330日) レスリング部活動	S63. 3	1,940,000
3	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ	授業・部活動日 (年間330日) 音楽授業、合唱部練習	H16. 5	1,449,000
4	02-02	放送装置	放送装置 デスク型	授業日 (年間260日) 校内放送	H26. 2	1,047,900
5	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ	授業・部活動日 (年間330日) 音楽授業、合唱部練習	S57. 3	781,000
6	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー	毎日 (年間365日) 職員業務用	H29. 3	775,440
7	01-04	たな	木製書架 5段8連	毎日 (年間365日) 図書収納 (図書室)	H 4. 10	709,670
8	01-99	その他の庁用器具	斜降式救助袋	毎日 (年間365日) 災害発生時に避難に使用	H25. 3	672,000
9	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ	授業・部活動日 (年間260日) 音楽授業、合唱部練習	S61. 6	630,000
10	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ	授業・部活動日 (年間260日) 音楽授業、合唱部練習	H 8. 9	600,000
11	10-12	室内競技用器具	レスリングキャンバス	部活動日 (年間330日) レスリング部活動	H 3. 5	597,400
12	10-07	管楽器	オーボエ	授業・部活動日 (年間260日) 音楽授業、吹奏楽部活動	H16. 3	565,023
13	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール	授業・部活動日 (年間260日) 体育授業、サッカー部練習	H 9. 12	552,405
14	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ	授業・部活動日 (年間260日) 音楽授業、合唱部練習	S63. 11	530,000
15	10-07	鍵盤楽器	アップライトピアノ	授業・部活動日 (年間260日) 音楽授業、合唱部練習	S63. 11	530,000
16	01-02	カウンター	カウンター	毎日 (年間365日) 図書受付機	H14. 12	522,900
17	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー 等一式	毎日 (年間365日) 職員業務用	H29. 3	475,956
18	01-04	たな	書架 文庫・新書用 複式2連	毎日 (年間365日) 図書収納 (図書室)	H11. 2	462,000
19	03-03	その他の投影機	液晶プロジェクター	授業日 (年間260日) 理科 (地学) 授業	H14. 7	441,000
20	10-06	教育調理器具	教師用調理台	毎日 (年間365日) 調理授業・調理用品収納	H 5. 10	439,192

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	遠山 一郎		□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
2	副校長	松本 一真		□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
3	教頭	石上 雅崇		□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
4	事務長	梶 弘幸		□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
5	教諭	田形 和彦	国語	□□□	□年 □月	□□□
6	教諭	佐藤 野廣	理科	□□□	□年 □月	□□□
7	教諭	戸塚 康博	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
8	教諭	加藤 直人	理科	□□□	□年 □月	□□□
9	教諭	鶴野 祐介	理科	□□□	□年 □月	□□□
10	教諭	宮崎 光弘	国語	□□□	□年 □月	□□□
11	教諭	三枝 美浩	外国語	□□□	□年 □月	□□□
12	教諭	大代 茂雄	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
13	教諭	赤池 学	外国語	□□□	□年 □月	□□□
14	教諭	田村 幸司	外国語	□□□	□年 □月	□□□
15	教諭	松永 直也	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
16	教諭	増野 真佐美	音楽	□□□	□年 □月	□□□
17	教諭	杉山 清隆	数学	□□□	□年 □月	□□□
18	教諭	松永 一成	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
19	教諭	中村 みほ	外国語	□□□	□年 □月	□□□
20	教諭	大澤 健	数学	□□□	□年 □月	□□□
21	教諭	石川 恵子	外国語	□□□	□年 □月	□□□
22	教諭	齋藤 智子	家庭	□□□	□年 □月	□□□
23	教諭	矢追 雄一	理科	□□□	□年 □月	□□□
24	教諭	鈴木 則央	数学	□□□	□年 □月	□□□
25	教諭	鈴木 礼子	国語	□□□	□年 □月	□□□
26	教諭	志村 修	外国語	□□□	□年 □月	□□□
27	教諭	小俣 美穂	国語	□□□	□年 □月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
28	教諭	野村 真澄	数学	□□□	□年 □月	□□□
29	教諭	山内 みづほ	国語	□□□	□年 □月	□□□
30	教諭	中上 純子	国語	□□□	□年 □月	□□□
31	教諭	小柳 明良	外国語	□□□	□年 □月	□□□
32	教諭	川島 健児	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
33	教諭	本間 久貴	数学	□□□	□年 □月	□□□
34	教諭	鈴木 聡子	外国語	□□□	□年 □月	□□□
35	教諭	青島 弘明	数学	□□□	□年 □月	□□□
36	教諭	小六 純子	外国語	□□□	□年 □月	□□□
37	教諭	長谷川 拓也	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
38	教諭	澤口 毅	数学	□□□	□年 □月	□□□
39	教諭	牧野 友裕	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
40	教諭	平井 誠也	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
41	教諭	佐藤 幸弘	数学	□□□	□年 □月	□□□
42	教諭	東 友貴	理科	□□□	□年 □月	□□□
43	教諭	山本 ほのか	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
44	教諭	本宮 裕平	理科	□□□	□年 □月	□□□
45	教諭	佐々木 裕己	国語	□□□	□年 □月	□□□
46	教諭	松井 太朗	理科	□□□	□年 □月	□□□
47	教諭	宮本 祐希	数学	□□□	□年 □月	□□□
48	教諭	村田 翔	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
49	教諭	望月 万聖	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□
50	養護教諭	佐藤 梨沙		□□□	□年 □月	□□□
51	養護教諭	西郷 真実恵		□□□	□年 □月	□□□
52	実習助手	長村 夏美	理科	□□□	□年 □月	□□□
53	主査	狩俣 博之	管財・会計	□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
54	主査	仲本 由加	管財・会計	□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
55	主査	鈴木 菜月	庶務・会計	□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
56	主事	堀内 菜那	庶務・会計	□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
				平均年数	3年 6月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	実習助手	中村 元春	理科	□□□	□年 □月	
2	教諭	勝間田 逸平	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
3	会計年度任用職員	岡本 吉史	理科	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	山口 嘉文	美術	□□□	□年 □月	□□□□□□□□□□
5	会計年度任用職員	大石 一乗	情報	□□□	□年 □月	
6	会計年度任用職員	田中 孝典	部活動指導員	□□□	□年 □月	
7	会計年度任用職員	鈴木 茜	スクールカウンセラー	□□□	□年 □月	
8	会計年度任用職員	丹治 静子	スクールカウンセラー	□□□	□年 □月	
9	会計年度任用職員	早村 正樹	用務	□□□	□年 □月	
10	会計年度任用職員	田島 靖之	用務	□□□	□年 □月	
11	会計年度任用職員	松田 明	用務	□□□	□年 □月	
12	外国語指導講師	Emily Alexander	外国語	□□□	□年 □月	
13	学校医	山下 えり子	内科	□□□	□年 □月	
14	学校医	藤井 悠策	耳鼻科	□□□	□年 □月	
15	学校医	瀧本 純	歯科	□□□	□年 □月	
16	学校医	松永 寛美	眼科	□□□	□年 □月	
17	学校薬剤師	藤原 信季		□□□	□年 □月	

職員の年齢調

(令和7年8月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	12	
40歳以上50歳未満	11	
50歳以上56歳未満	12	
56歳以上61歳未満	9	
61歳以上	8	再任用職員 7名
計	56	平均年齢 47.8歳

健康管理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 56人
	職員数 56人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	
B 2		要経過観察	
C 1	勤務をほぼ平常に行っていが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	
C 2		要経過観察	
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	3(3)人
D 2		要経過観察	48(48)人
D 3		医 療 不 要	4(4)人
区 分 者 計			55(55)人
未区分者数			1(1)人
合 計			56(56)人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア	産休・育休	人
イ	新規採用	1人
ウ	自己都合による未受診	人
エ	そ の 他	人
	()	人